

令和元年 消防年報



黒川岬（くろかわみさき）



鹿児島県 姶良市消防本部

令和2年刊行

姶良市市制施行10周年

表紙の説明【黒川岬（くろかわみさき）】

市の中で最も湾奥に位置する岬で、錦江湾の波の向こうに浮かぶ桜島を大パノラマで眺めることができます。その雄大な景色は加治木八景にも選ばれています。約170～70万年前、国分層群（加治木層）の堆積中に溶岩が流れ込んでおり、マグマの接触部分や安山岩が凝灰質砂岩・シルト層の中に併入している露頭が観察できます。

また、錦江湾の名前の由来とされている、島津家久の歌「浪のおり/かくる錦は/磯山の/梢にさらす/花の色かな」は、この黒川岬で詠まれたと言われています。

所在地：鹿児島県姶良市加治木町反土黒川

市制施行10周年ロゴの説明

令和2年3月23日をもちまして姶良市は市制施行10周年を迎えた。

永久に輝く10の星たちが10周年を意味し、姶良【Aira】の頭文字は、様々な形に変化・成長するまちを表現。さらなる飛躍を期待し、ご榮転（エイテン）に掛けたロゴとなっています。

姶 良 市 民 憲 章

わが姶良市は、鹿児島県の中央に位置し、風光明媚な環境に恵まれ、

悠久の歴史を刻みつつ、さらに躍動するまちを目指しています。

わたしたちは、先人の郷土愛を受け継ぎ、姶良市民であることに誇り

と自覚を持ち、平和な魅力あるまちをつくるため、ここに市民憲章を

定めます。

一 わたしたち姶良市民は、決まりを守り、
安全で安心な住みよいまちをつくります。

一 わたしたち姶良市民は、ともに支え合い、
思いやりのあるまちをつくります。

一 わたしたち姶良市民は、^{すこ} 健やかな心身を^{つちか} 培い、
生きがいを^{はぐく} 育むまちをつくります。

一 わたしたち姶良市民は、学ぶ喜びを分かち合い、
豊かな教育と文化のまちをつくります。

一 わたしたち姶良市民は、明るく健全な子どもたちを
^{はぐく} 育み、活力あるまちをつくります。

平成 23 年 4 月 24 日制定



「ア」の文字と、無限（∞）をモチーフとして、未来へとダイナミックに
大空を翔る鳥の姿を図案化。互いに結び合いながら、無限（∞）を織りなす
3つのラインは、3町を表すとともに、新市のまちづくりの基本理念である
「～みんなでふれあいはぐくむまち～」、新市の「限りない可能性」、「恒久
的発展性」をシンボライズ。

は　し　が　き

この年報は、姶良市消防本部の現勢と令和元年(2019年) 度中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に關係のある事項については会計年度で、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表しております。

令和2年6月

姶良市消防本部

目 次

I 総 括

◆一目統計	1
1 姶良市消防本部の位置と地勢	2
2 署・所配置図及び管轄区域	3
3 消防本部・署の沿革	4

II 総 務

1 歴代消防長	9
2 姶良市消防本部の組織図	10
3 消防本部・署の事務分掌	11
4 消防庁舎の概要	15
5 職員の配置状況	16
6 職員の学校教養実施状況	17
7 職員の階級別年齢状況	18
8 職員の勤務年数表	19
9 予算の比較	20
10 消防費と人口の比較	20
11 消防費の内訳	20
12 消防職員特殊技能その他資格取得状況	21
13 消防相互応援協定等締結状況	24

III 警 防

1 消防水利	25
2 基準消防力	25
3 隊員及び車両配置一覧表	25
4 特殊機材配置一覧表	26
5 消防車両等の一覧表	27
6 救急車両の一覧表	28
7 火災・救急・救助以外の出動状況	29

IV 救急・救助

1 救急隊別出場件数	30
2 救急隊別搬送人員	30
3 救急隊別不搬送件数	30
4 曜日別事故種別救急活動状況	31
5 月別事故種別救急活動状況	31
6 事故種別出場比率表	32
7 覚知別出場比率表	32
8 管内・管外別搬送人員	33
9 発生場所別搬送人員	33
10 時間別救急出場件数	34
11 事故種別・医療機関別搬送人員	35

12	年齢区分別事故種別搬送人員	36
13	傷病程度性別事故種別搬送人員	36
14	救急隊員の行った応急処置件数	37
15	現場到着所要時間別出場件数	39
16	収容所要時間別搬送人員	39
17	事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	40
18	過去5か年の出場状況	41
19	出場先別出場件数	41
20	出場先別搬送人員	42
21	出場先別不搬送件数	42
22	管内病院等情報	43
23	鹿児島県ドクターへリ	45
24	姶良市救急医療情報キット「始救あんしんキット」	46
25	「始救あんしん携帯カード」	47
26	自動体外式除細動器（AED）設置協力事業所	48
27	救助活動状況	49
28	事故種別発生場所出動件数	49

V 予 防

1	防火対象物現況	50
2	階層別防火対象物棟数	51
3	予防査察実施状況	52
4	危険物施設の数量及び類別状況	53
5	危険物関係施設の査察実施状況	54
6	各種届出処理状況	54
7	防火訓練等実施人数	55
8	防火訓練等実施回数	56
9	消防クラブ結成状況	57

VI 火 災

1	火災の発生状況	58
2	火災概要	58
3	焼損状況	58
4	火災発生状況	59
5	死傷者・り災世帯数	60
6	過去5か年の火災発生件数及び損害額	60
7	原因別出火件数	61
8	地域別火災発生状況及び損害額	62
9	時間別火災発生状況	62
10	月別火災発生状況	62
11	月別管内合計	63

VII 消防団

1	消防団現勢	64
---	-------	----

2 年齢別消防団員数（実員）	64
3 在籍年数別消防団員数（実員）	64
4 消防団員の費用弁償	64
5 団員等年報酬状況	64
6 消防団幹部一覧表	65
7 消防団の人員機械配置一覧表	66
8 消防団車両の一覧表	67

VIII 通信・気象

1 消防緊急通信指令施設構成図	69
2 消防無線配置状況	70
3 災害種別等受信状況	71
4 119番覚知別受信状況	72
5 気象状況	73
6 病院問合せ	74

IX 付録

1 組合設立までのあらまし	76
2 消防本部・署の沿革（姶良郡西部消防組合消防本部）	76

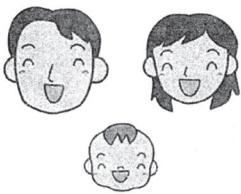
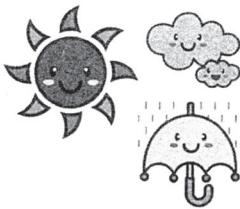
總
括

I 總 括

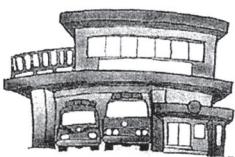
◆ 一目統計

(令和2年4月1日現在)

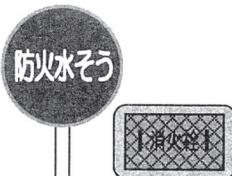
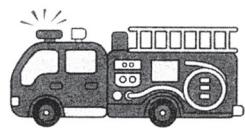
自然環境 人口・世帯



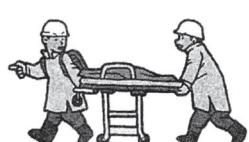
消防予算 構成・人事



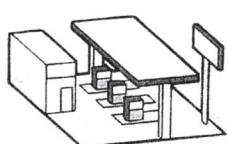
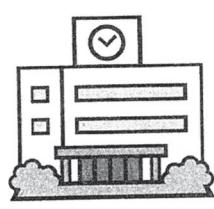
機械・施設



火 救 救 災 急 助



予 防



管内面積
231.25km²

気象
年間平均気温 18.0°C
年間降雨量 2,308mm

人口
77,302人

世帯数
36,927世帯

消防予算
1,068,278千円

署所
消防本部 1
署 1
分遣所 2

職員数
定数 100人
実数 102人
(再任用2人)

消防団員数等
分団数 15分団
定 数 541人
実 数 469人

消防自動車等
水槽付消防ポンプ車 3台
小型ポンプ付積載車 4台

特殊車両等
13m放水塔付消防ポンプ自動車 1台
津波大規模風水害対策車 1台
救助工作車 1台
その他車両 5台

救急自動車等
高規格救急自動車 5台

消防水利
消火栓 1,149基
防火水槽 235基

火災件数 39件
死 者 0人
負傷者 4人
損害額 175,629(千円)

出火原因
1位 火入れ
2位 こんろ

救急出場
出場件数 3,755件
搬送人数 3,503人

救助出動
出動件数 48件
活動件数 47件

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)



防火対象物数
2,409件

危険物施設数
貯蔵所 96件
取扱所 71件

防火対象物定期点検
報告制度
特例認定事業所 14件
定期点検報告事業所 56件

防火クラブ
幼年消防 8団体
少年消防 2団体

1 始良市消防本部の位置と地勢

姶良市は、薩摩半島と大隅半島の分岐点、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。

東経 130 度 38 分、北緯 31 度 44 分に位置し、東西 23.7km、南北 24km に広がり、面積は 231.25km²で、鹿児島県総面積の 2.5%を占めています。

古い歴史と文化に育まれた姶良市の指定文化財は県下で一番多く、伝統芸能や文化遺産などの文化財が数多く残されています。

また、樹齢約 1,500 年と推定される日本一の巨樹「蒲生の大クス」で有名な「蒲生八幡神社」、日露戦争に従軍した人の帰還を記念して建てられた希少で珍しい石造りの「山田の凱旋門」、日本の滝百選に選ばれている「龍門滝」など歴史あふれる名所や豊かな自然に恵まれています。

消防本部の位置

東経 130° 38'

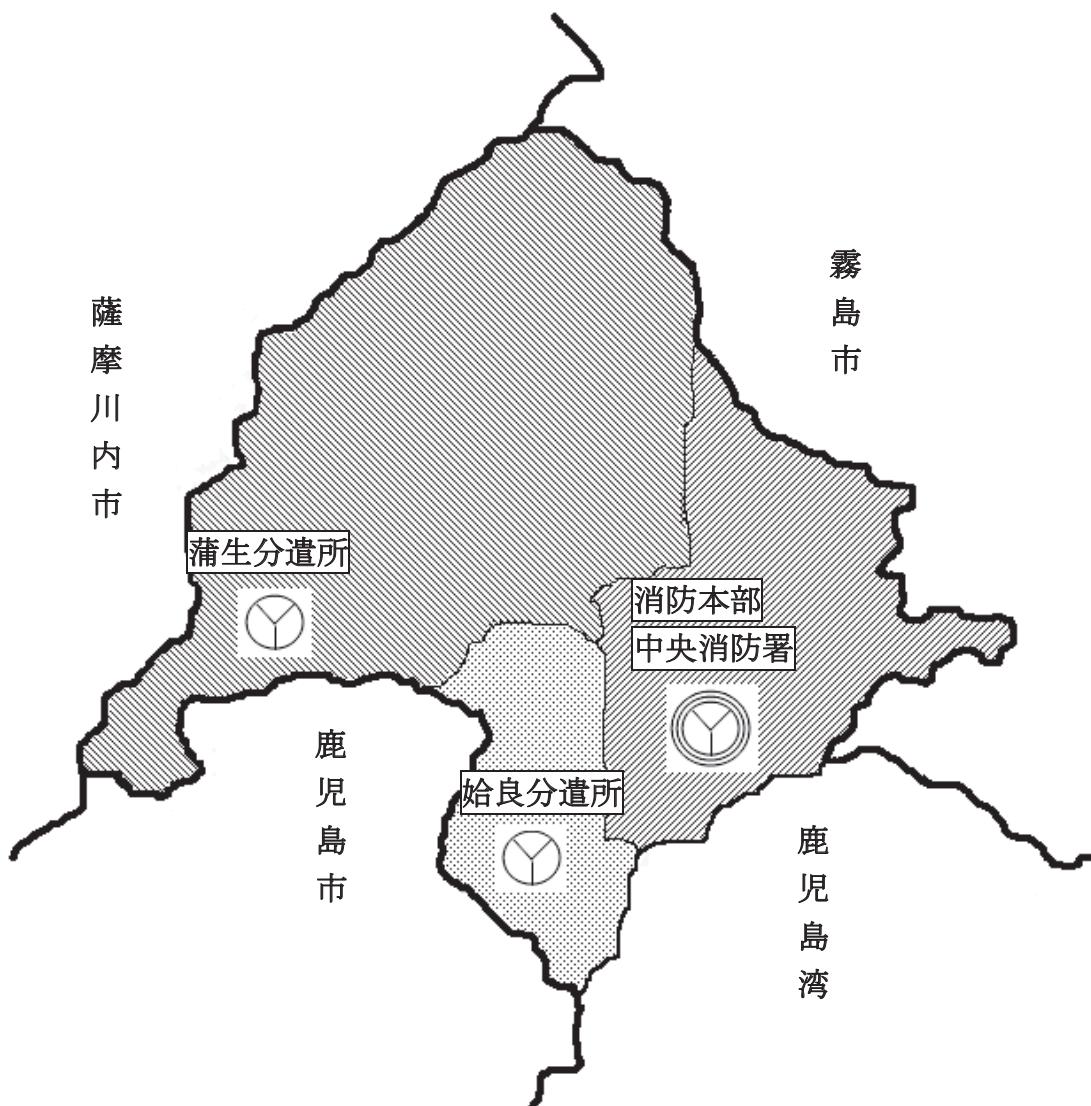
北緯 31° 44'



2 署・所配置図及び管轄区域

(令和2年4月1日現在)

消防本部管内地図



3 消防本部・署の沿革

年　月　日	概　　要
平成22年 3月23日	姶良市が誕生し、姶良市消防本部発足 初代消防長に宮原千年就任
平成22年 3月31日	消防吏員3人定年退職、2人普通退職
平成22年 4月 1日	市長部局より2人出向 消防吏員5人採用し、実人員89人
平成22年 5月 6日	救急救命士資格取得1人（計12人）
平成22年10月 8日	平成22年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（薩摩川内市）
平成23年 1月 8日	姶良市消防出初式（加治木運動場）
平成23年 3月16日	高規格救急自動車更新（中央消防署に配備）
平成23年 3月14日 ～ 3月23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁長官から派遣要請を受け、延べ9人出場 (派遣先：宮城県石巻市)
平成23年 3月31日	初代消防長宮原千年退任
平成23年 4月 1日	第2代消防長に黒木俊己就任 市長部局へ1人出向、市長部局より1人出向 消防吏員2人採用（救急救命士）、実人員89人 救急救命士資格取得者2人（計14人）
平成23年 4月25日	救急救命士資格取得1人（計15人）
平成23年12月26日	鹿児島県ドクターへリ運航開始
平成24年 1月15日	姶良市消防出初式（姶良市姶良公民館）
平成24年 3月31日	消防吏員3人定年退職
平成24年 4月 1日	消防吏員4人採用し、実人員90人
平成24年 5月 1日	救急救命士資格取得2人（計17人）
平成24年 6月13日	救急救命士資格取得1人（計18人）
平成24年 6月15日	消防救急無線電波伝搬調査及び基本設計業務委託の契約締結
平成24年 7月14日	消防吏員1人死亡退職、実人員89人
平成24年10月 1日	消防吏員1人採用し、実人員90人
平成24年11月21日	消防庁舎建設に伴う隣接地土地家屋取得
平成24年12月 5日	高規格救急自動車更新（蒲生分遣所に配備）
平成25年 1月 6日	姶良市消防出初式（姶良市蒲生中学校グラウンド）
平成25年 3月31日	消防吏員2人定年退職
平成25年 4月 1日	市長部局総務部へ3人出向、市長部局より2人出向 消防吏員3人採用し、実人員90人
平成25年 4月22日	救急救命士資格取得1人（計19人）

平成25年 5月16日	消防緊急通信システム等移設設置業務委託の契約締結
平成25年 5月31日	姶良市消防庁舎設計業務委託の契約締結 姶良市消防庁舎地質調査業務委託の契約締結 姶良市消防庁舎土地地質更正測量業務委託の契約締結
平成25年 6月 6日	消防通信システムデジタル化実施設計業務委託の契約締結
平成25年 7月11日	姶良市消防本部中央消防署仮庁舎改修工事の契約締結
平成25年 8月27日	姶良市消防本部庁舎アスベスト除去工事の契約締結 姶良市消防本部庁舎解体工事の契約締結
平成25年 9月 1日	消防本部、通信指令室（あいらクリーンセンター）・中央消防署（旧庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎移転作業開始
平成25年11月25日	消防団120周年・自治体消防65周年記念大会（東京）
平成26年 1月 5日	姶良市消防出初式（加治木運動場）
平成26年 1月28日	姶良市消防本部庁舎杭引抜工事の契約締結
平成26年 2月24日	※参考：姶良警察署（姶良地区安全運転管理協議会事務局）移転業務開始
平成26年 3月31日	第2代消防長黒木俊己退任 消防吏員2人定年退職
平成26年 4月 1日	第3代消防長に岩爪隆就任（市長部局総務部より出向） 市長部局総務部へ2人出向
平成26年 4月 9日	消防吏員4人採用（うち救急救命士1人）し、実人員90人 救急救命士資格取得1人（計20人）
平成26年 4月21日	救急救命士資格取得2人（計22人）
平成26年 5月26日	姶良市消防本部庁舎監理業務委託の契約締結 姶良市消防本部庁舎新築工事の契約締結 姶良市消防本部庁舎新築電気設備工事の契約締結 姶良市消防本部庁舎新築空調設備工事の契約締結 姶良市消防本部庁舎新築給排水衛生設備工事の契約締結
平成26年 6月12日	消防本部へ軽自動車新規配備
平成26年 6月17日	新庁舎建設地にて安全祈願祭を挙行
平成26年 7月10日	姶良市消防本部外構工事の契約締結
平成26年 7月11日	消防通信システムデジタル化整備工事の契約締結
平成26年 7月17日	姶良市消防本部国道試掘業務委託の契約締結
平成26年 7月18日	消防通信システムデジタル化施工管理業務委託の契約締結
平成26年 8月19日	姶良市消防本部庁舎自家用発電設備工事の契約締結 姶良市消防本部庁舎昇降機設備工事の契約締結
平成26年11月21日	姶良市消防本部乗り入れ口拡幅工事の契約締結
平成26年11月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（福岡県久留米市）
平成27年 1月 6日	姶良市消防出初式（加治木運動場）
平成27年 3月10日	水槽付消防ポンプ自動車更新（蒲生分遣所に配備）

平成27年 3月16日	消防通信システムデジタル化整備完成
平成27年 3月20日	姶良市消防本部新庁舎完成
平成27年 3月26日	移動式圧縮充填装置購入（中央消防署に設置）
平成27年 3月28日 ～ 29日	消防本部・通信指令室（あいらクリーンセンター）・中央消防署（旧庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎より移転作業開始
平成27年 3月31日	消防吏員5人定年退職
平成27年 4月 1日	姶良市消防本部新庁舎開庁式、業務開始 消防救急デジタル無線・消防通信指令システム等運用開始 職員定数条例を改正、消防職員90人から100人とする。 市長部局総務部へ2人出向、市長部局より2人出向
平成27年 4月 8日	消防吏員7人採用（うち女性2人、救急救命士3人）実人員92人 救急救命士資格取得1人（計23人）
平成27年 4月20日	救急救命士資格取得2人（計25人）
平成27年 4月27日	姶良市消防本部中央消防署仮庁舎解体工事の契約締結
平成27年 5月 7日	救急救命士資格取得2人（計27人）
平成27年 5月16日	消防吏員1人死亡退職、実人員91人
平成27年 6月 4日	消防吏員1人死亡退職、実人員90人
平成27年 7月14日	姶良市消防本部訓練塔監理業務委託の契約締結 姶良市消防本部訓練塔新築工事の契約締結 姶良市消防本部訓練塔新築電気設備工事の契約締結 姶良市消防本部訓練塔新築機械設備工事の契約締結
平成27年 9月 9日	姶良市消防本部副訓練塔新築工事の契約締結 姶良市消防本部副訓練塔新築電気設備工事の契約締結 姶良市消防本部副訓練塔新築機械設備工事の契約締結 姶良市消防本部外構工事の契約締結
平成27年10月29日	広報連絡車更新（消防本部）
平成27年11月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県佐伯市）
平成28年 1月 6日	姶良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成28年 3月22日	姶良市消防本部訓練塔・副訓練塔完成
平成28年 3月23日	小型ポンプ付積載車更新（姶良分遣所に配備）
平成28年 3月31日	消防吏員1人定年退職
平成28年 4月 1日	市長部局建設部へ1人出向、教育委員会事務部局より1人出向 消防吏員6人採用し、実人員95人
平成28年 4月16日 ～ 4月25日	平成28年4月14日21時46分に発生した、「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として出場 16日～20日後方支援隊3人、20日～25日救急隊、後方支援隊各1隊6人出場（派遣先：熊本県益城町、美里町、南阿蘇村）
平成28年 5月17日	腕用ポンプ（白男分団より借用）※エントランスホールに展示

平成28年11月 5日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県島原市）
平成28年 7月 19日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成29年 1月 6日	姶良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成29年 3月 9日	警防車更新（消防本部）
平成29年 3月 23日	水槽付消防ポンプ自動車更新（姶良分遣所に配備）
平成29年 3月 31日	消防吏員3人定年退職（うち第3代消防長岩爪隆退任） 救急救命士1人退職（計27人）
平成29年 4月 1日	第4代消防長に福ヶ迫勇二就任 市長部局総務部へ2人、建設部へ1人出向、農林水産部より1人、市民生活部より1人出向 消防吏員6人（うち消防職経験者2人、救急救命士1人）採用し、実人員97人
平成29年 4月 10日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成29年 4月 27日	救急救命士資格取得1人（計29人）
平成29年11月 11日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県武雄市）
平成29年11月 11日	始救・あんしんサポート隊発足
平成30年 1月 6日	姶良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成30年 2月 28日	小型ポンプ付積載車更新（中央消防署に配備）
平成30年 3月 7日	自治体消防70周年記念式典及び消防・防災活動活性化大会（東京）
平成30年 3月 23日	高規格救急自動車更新（中央消防署に配備）
平成30年 3月 31日	消防吏員1人定年退職
平成30年 4月 1日	消防吏員3人（うち消防職経験者2人）採用し、実人員99人
平成30年 4月 16日	救急救命士資格取得1人（計30人）
平成30年11月 10日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県東串良町）
平成30年12月 4日	普通救命講習 新規受講者10,000人突破
平成30年12月 11日	13m放水塔付消防ポンプ自動車導入 (水槽付消防ポンプ自動車更新、中央消防署に配備)
平成31年 1月 6日	姶良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成31年 3月 19日	高規格救急自動車寄贈 (一般社団法人日本自動車工業会、中央消防署に配備)
平成31年 3月 31日	消防吏員2人定年退職（うち第4代消防長福ヶ迫勇二退任） 消防職員1人定年退職
平成31年 4月 1日	市長部局へ2人出向、市長部局より3人出向 第5代消防長に米澤照美就任 消防吏員3人（うち消防職経験者（救急救命士）1人）採用し、実人員100人（うち救急救命士31人）
令和 元年 6月 4日	姶良・蒲生分遣所増築設計業務委託の契約締結
令和 元年 7月 5日	土地取得（蒲生分遣所女性エリア増築に伴う地目変更登記）

	所有権移転（旧蒲生町→姶良市）、地目変更（田→宅地）
令和元年 8月 3日 ～4日	こども消防士育成プロジェクト実施
令和元年 8月 21日	姶良分遣所訓練塔防水工事の契約締結
令和元年 9月 30日	膨張式エアーテント購入（中央消防署）
令和元年 10月 1日	『火災多発非常事態』宣言 高機能消防指令センター情報系更新
令和元年 11月	新型コロナウイルス 中国武漢にて発生確認
令和元年 11月 9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県高原町）
令和 2年 1月 6日	姶良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
令和 2年 2月 28日	津波・大規模風水害対策車を総務省消防庁から無償貸与 (水陸両用バギー等の救助資機材を積載、中央消防署に配備)
令和 2年 3月 19日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車導入 (水槽付消防ポンプ自動車更新、中央消防署に配備)
令和 2年 3月 31日	消防吏員4人定年退職（うち総務部出向者2人（うち救命士1人））
令和 2年 4月 1日	市長部局へ2人出向 消防吏員3人（うち消防職経験者1人）、再任用職員2人（週31時間勤務、週23時間15分勤務（身障者））採用し、実人員102人（うち救急救命士30人）

※姶良郡西部消防組合消防本部・署の沿革については、IX付録（P76～P81）に掲載

II 總務

總務

1 歷代消防長

姶良郡西部消防組合消防本部



初代 曾木 隆輝
自 昭和46年4月1日
至 昭和47年3月31日



2代 下猶 篤男
自 昭和47年4月1日
至 昭和49年12月31日



3代 坂元 満男
自 昭和50年1月1日
至 昭和53年3月31日



4代 右田 光男
自 昭和53年4月1日
至 昭和58年7月31日



5代 村岡 創造
自 昭和58年8月1日
至 昭和61年12月31日



6代 木場 政昭
自 昭和62年1月1日
至 昭和62年3月31日



7代 迫屋 清治
自 昭和62年4月1日
至 平成2年3月31日



8代 雨乞 信
自 平成2年4月1日
至 平成9年3月31日



9代 猶木 龍美
自 平成9年4月1日
至 平成12年3月31日



10代 森田 峰一
自 平成12年4月1日
至 平成17年3月31日



11代 垂内 猛志
自 平成17年4月1日
至 平成19年10月31日



12代 池山 史郎
自 平成19年11月1日
至 平成21年9月30日

姶良市消防本部



13代(初代)宮原 千年
自 平成21年10月1日
至 平成23年3月31日



2代 黒木 俊己
自 平成23年4月1日
至 平成26年3月31日



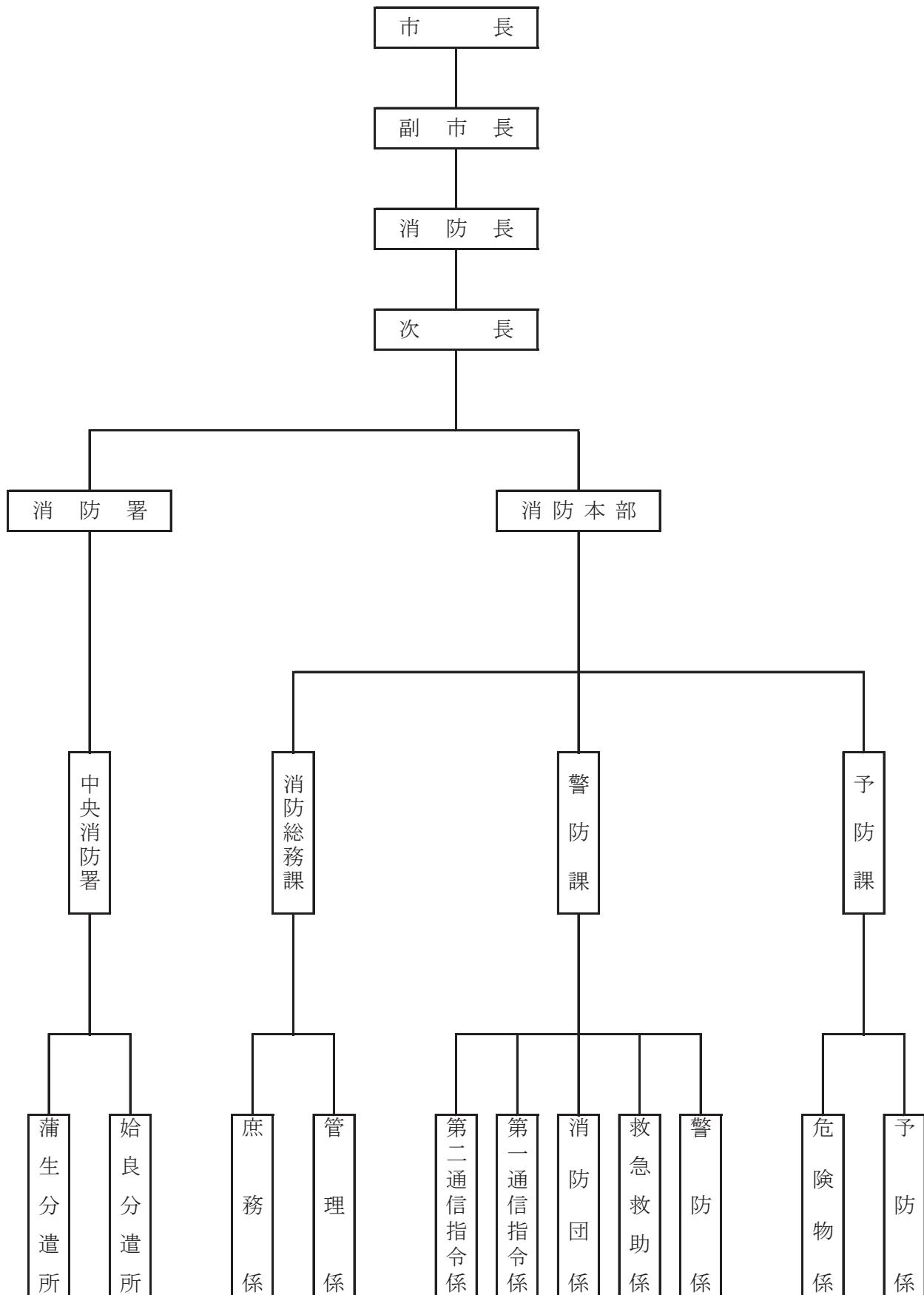
3代 岩爪 隆
自 平成26年4月1日
至 平成29年3月31日



4代 福ヶ迫 勇二
自 平成29年4月1日
至 平成31年3月31日

2 始良市消防本部組織図

(令和2年4月1日現在)



3 消防本部・署の事務分掌

■消防本部

消防総務課

庶務係

- (1) 公印の保管及び取扱いに関すること。
- (2) 文書の収受、発送、保存、廃棄に関すること。
- (3) 職員の階級、任命、分限及び懲戒に関すること。
- (4) 職員の勤務状況に関すること。
- (5) 職員の服務に関すること。
- (6) 職員の研修及び教養に関すること。
- (7) 事務分掌に関すること。
- (8) 表彰に関すること。
- (9) 職員の衛生管理に関すること。
- (10) 職員の試験及び選考に関すること。
- (11) 消防職員委員会に関すること。
- (12) 消防協会事務に関すること。
- (13) 消防年報の作成に関すること。
- (14) 部内の他の課、係の所掌に属さない事務に関すること。

管理係

- (1) 職員の被服及び貸与品に関すること。
- (2) 消防手数料の収納に関すること。
- (3) 消防機械器具の維持管理及び運用に関すること。
- (4) 消防自動車等の整備及び修理に関すること。

警防課

警防係

- (1) 職員の教育訓練に関すること。
- (2) 災害の統計及び報告に関すること。
- (3) 開発行為の事前行為等に関すること。
- (4) 水、火災その他の災害の警戒、防ぎよ及び救護等に関すること。
- (5) 消防水利及び地理に関すること。
- (6) 水、火災の警防計画に関すること。
- (7) 消防団との連絡、指導に関すること。
- (8) 非常招集に関すること。
- (9) 消防力の配備計画に関すること。
- (10) 相互応援協定に関すること。

- (11) 車両等の安全運転管理に関すること。
- (12) 消防用資機材に関すること。
- (13) 特殊災害に関すること。
- (14) 緊急消防援助隊に関すること。
- (15) その他課に属する事務の処理に関すること。

救急救助係

- (1) 救急、救助、潜水に関すること。
- (2) 救急、救助、潜水用資機材に関すること。
- (3) 統計、調査及び報告に関すること。
- (4) 救急、救助、潜水隊員の教育訓練に関すること。
- (5) 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- (6) 救急、救助、潜水の広報に関すること。
- (7) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- (8) メディカルコントロール協議会に関すること。
- (9) その他救急、救助、潜水に関すること。

消防団係

- (1) 消防団の組織に関すること。
- (2) 消防団員等の公務災害補償及び退職報奨金に関すること。
- (3) 消防団員の任免及び表彰に関すること。
- (4) 消防団員の報酬及び費用弁償に関すること。
- (5) 消防団員の会議に関すること。
- (6) 消防団員の研修、教養及び訓練に関すること。
- (7) 消防団員の被服及び貸与品に関すること。
- (8) 消防団員の備品に関すること。
- (9) 消防団の車庫及び施設の維持管理に関すること。
- (10) 消防団の消防自動車等の管理業務に関すること。
- (11) 消防協会事務に関すること。
- (12) 消防後援会に関すること。
- (13) その他消防団に関すること。

第一通信指令係・第二通信指令係

- (1) 水、火災その他の災害及び救急救助業務に関する受報及び令に関すること。
- (2) 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関すること。
- (3) 電話交換業務に関すること。
- (4) 消防通信の計画・配置・運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関すること。
- (5) 消防無線の運用に関すること。
- (6) 通信係員の通信技術の訓練及び指導に関すること。

- (7) 気象情報及び警報発令に関すること。
- (8) 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関すること。
- (9) 通信業務のデータの管理に関すること。
- (10) その他通信指令業務に関すること。

予防課

予防係

- (1) 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- (2) 防火教室に関すること。
- (3) 火災予防の企画に関すること。
- (4) 統計調査及び報告に関すること。
- (5) 火災予防査察に関すること。
- (6) 建築同意に関すること。
- (7) 消防用設備等に係る指導及び検査に関すること。
- (8) 防火対象物の表示等に関すること。
- (9) 広報活動及び火災予防運動に関すること。
- (10) 消防協力団体の育成及び指導に関すること。
- (11) 火災の原因調査及び各種災害の損害調査に関すること。
- (12) 火災その他の諸証明書の発行に関すること。
- (13) その他課に属する事務の処理に関すること。

危険物係

- (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。
- (2) 危険物災害の調査をすること。
- (3) 自主防災組織等の育成指導及び連絡調整に関すること。
- (4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。
- (5) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。
- (6) 危険物安全協会の育成及び指導に関すること。
- (7) その他危険物に関すること。
- (8) 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）第25条第1項の規定に基づく火薬類（煙火に限る。）の消費の許可に関すること。

■ 消防署

庶務係

- (1) 備品の使用管理に関すること。
- (2) 物品の取扱いに関すること。
- (3) 公印の保管及び取扱いに関すること。
- (4) その他庶務係に関すること。

予防係

- (1) 火災予防に関すること。
- (2) 危険物の指導取締りに関すること。
- (3) 各種届出の受理及びこれらに係る警戒に関すること。
- (4) 予防査察に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 防火思想の普及宣伝に関すること。
- (7) 自主防災組織等及び危険物安全協会の指導育成及び連絡調整に関すること。
- (8) 火災原因、損害の調査及び統計に関すること。
- (9) その他予防係に関すること。

警防係

- (1) 警戒及び防御並びにこれらに必要な処置に関すること。
- (2) 水防業務に関すること。
- (3) 消防の特別警戒に関すること。
- (4) 地理及び水利の調査に関すること。
- (5) 通信施設整備の保全、管理及び運用に関すること。
- (6) 災害の調査及び統計に関すること。
- (7) 特殊災害に関すること。
- (8) 消防団との連携及び指導に関すること。
- (9) 各種訓練に関すること。
- (10) その他警防係に関すること。

救急・救助係

- (1) 救急、救助及び潜水に関すること。
- (2) 救急、救助及び潜水用資機材に関すること。
- (3) 統計調査及び報告に関すること。
- (4) 救急及び救助隊員の教育訓練に関すること。
- (5) 応急手当ての普及及び啓発運動に関すること。
- (6) その他救急、救助及び潜水に関すること。

機械係

- (1) 消防用機材の整備及び保管に関すること。
- (2) 機械関係の教養及び訓練に関すること。

機材係 消防用機材の整備及び保管に関すること。

4 消防庁舎の概要

(令和2年4月1日現在)

区分 名称	所 在 地	敷地面積	主要建物の構造	延面積	完成年月
消防本部 (通信指令室含む) 中央消防署			鉄筋コンクリート造 4階建	2530.91 m ²	H 27. 3
訓 練 塔	姶良市加治木町 木田 2040 番地1	3,942.46 m ²	鉄筋コンクリート造 5階建	396.00 m ²	
副訓練塔 1			鉄骨造3階建	575.88 m ²	H 28. 3
副訓練塔 2			鉄骨造3階建	57.87 m ²	
姶良分遣所 (補助訓練塔)	姶良市平松 2964 番地6	2,845.58 m ²	鉄筋コンクリート造 平屋建 (鉄骨造)	386.74 m ² (27.04 m ²)	H 10. 3
訓 練 塔			鉄骨造4階建	103.81 m ²	
蒲生分遣所	姶良市蒲生町白男 1948 番地1	2,993.09 m ²	鉄筋コンクリート造 平屋建	286.83 m ²	
訓 練 塔	1948 番地3	+137.00 m ² (R 1. 7. 5)	鉄骨造3階建	120.00 m ²	H 13. 3

5 職員の配置状況

(令和2年4月1日現在) (単位：人)

区分		階級別	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
消防本部	消防長	1	1							
	次長	2		2						
	消防総務課	6		1	1		1	2	1	
	警防課	5		1	2		1		1	
	(通信指令室)	11		1	2	5	1	2		
	予防課	4		2	2					
	小計	29	1	7	7	5	3	4	2	
消防署	次長									
	中央消防署	37		4	8	12	6	7		
	姶良分遣所	17		2	3	6	3	3		
	蒲生分遣所	17		2	5	4	1	5		
	小計	71		8	16	22	10	15		
合計		100	1	15	23	27	13	19	2	

※ 消防本部次長は、消防総務課長及び警防課長と兼務。

※ 消防総務課は、初任教育入校2人含む。

6 職員の学校教養実施状況

(1) 消防大学校等

(令和2年4月1日現在)

(単位：人)

区分	階級別	計	消防司令長	消防司	消防令	消防司令補	消防士	消防長	消防副士長	消防士	事務員
総職員数		100	1	15	23	27	13	19	2		
幹部研修科											
警防科											
予防科		2			1	1					
救助科		2			2						
火災調査科		1			1						
研救 急救 修 救 所命	東京	3				2	1				
	九州	17			5	10	2				
	指導救急救命 土養成研修	4			3	1					
	処置拡大に係 る追加講習	6			2	4					
	九州地区 警防実務研修	4			3	1					
	九州地区 予防実務研修	6			3	3					

(1) 鹿児島県消防学校等

(令和2年4月1日現在)

(単位：人)

区分	階級別	計	消防司令長	消防司	消防令	消防司令補	消防士	消防長	消防副士長	消防士	事務員
総職員数		100	1	15	23	27	13	19	2		
初任教育		95		15	23	27	13	17			
救急I課程		9		9							
救急II課程		2		2							
救急標準課程		17		11	6						
救急科		44		1	17	23	2	1			
予防科											
予防検察科		21		11	8	2					
警防科		1		1							
救助科		17		4	7	6					
初級幹部科		12		8	4						
中級幹部科		8		6	2						
火災調査科		16		6	8	2					
救急救命士処置拡 大に係る追加講習		18		3	7	4	4				
特別救助研修		1		1							
機関研修		1		1							
無線科		43	1	13	22	7					

7 職員の階級別年齢状況

(令和2年4月1日現在) (単位：人)

年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	総 数	5	10
18歳						1		1	1	
19歳						2		2	2	
20歳										
21歳						4		4	4	
22歳						3		3	3	
23歳					1	2		3	3	
24歳						2		2	2	
25歳						1		1	1	
26歳					4	2		6	6	
27歳						4	1	5	5	
28歳						3		3	3	
29歳				1	1	1		3	3	
30歳					7			7	7	
31歳						2		2	2	
32歳					3			3	3	
33歳					4			4	4	
34歳					1			1	1	
35歳				1	1			2	2	
36歳				2	2		1	5	5	
37歳										
38歳					1		1	2	2	
39歳						1		1	1	
40歳						1		1	1	
41歳				3				3	3	
42歳				2	1			3	3	
43歳				1				1	1	
44歳				10	1			11	11	
45歳				3	1			4	4	
46歳				2	1			3	3	
47歳				2				2	2	
48歳				2				2	2	
49歳			5					5	5	
50歳										
51歳			1					1	1	
52歳			1					1	1	
53歳										
54歳			1					1	1	
55歳										
56歳										
57歳										
58歳	1							1	1	
59歳		1						1	1	
総数	1	15	23	27	13	19	2	100		

8 職員の勤務年数表

(令和2年4月1日現在)

(単位：人)

年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	総 数	5	10	15
0年						3		3			
1年	1					3	2	6			
2年				1		2		3			
3年				1	1	4		6			
4年					1	5		6			
5年					6	1		7			
6年					3			3			
7年				3		1		4			
8年				2	2			4			
9年				2				2			
10年				5				5			
11年				2				2			
12年				3				3			
13年			1	1				2			
14年											
15年											
16年											
17年			1	1				2			
18年			1					1			
19年											
20年				2				2			
21年											
22年			1	1				2			
23年			9	1				10			
24年			1					1			
25年			2	1				3			
26年		8	6	1				15			
27年		3	1					4			
28年											
29年											
30年		1						1			
31年											
32年											
33年		2						2			
34年											
35年											
36年											
37年											
38年											
39年											
40年											
41年		1						1			
総数	1	15	23	27	13	19	2	100			

9 予算の比較

(令和2年4月1日現在) (単位:千円)

年 次	市一般会計予算	消 防 費	一般会計予算に 対する割合(%)
令和2年度	32,069,000	1,068,278 (965,209)	3.3 (3.0)

※ 括弧内については、消防本部所管分

10 消防費と人口の比較

(令和2年4月1日現在) (単位:円)

区 分	消 防 費	1世帯当たり	1人あたり
予 算 額	1,068,278,000 (965,209,000)	28,929 (26,138)	13,820 (12,486)

※ 括弧内については、消防本部所管分

11 消防費の内訳

(令和2年4月1日現在) (単位:千円)

区 分		令和2年度当初予算額
消防 本 部 所 管 分	常 備 消 防 費	833,469
	人 件 費	715,325
	報 酬	14
	報 償 費	293
	旅 費	2,263
	需 用 費	24,701
	役 務 費	7,467
	委 託 料	25,972
	使 用 料 及 び 貸 借 料	20,703
	工 事 請 負 費	25,947
	原 材 料 費	50
	備 品 購 入 費	4,500
	負 担 金 、 補 助 及 び 交 付 金	5,758
	公 課 費	476
水 防 費 (建 設 部 土 木 課 所 管 分)	非 常 備 消 防 費	84,958
	消 防 施 設 費	46,782
	計	965,209
災 害 対 策 費 (総 務 部 危 機 管 理 課 所 管 分)		2,740
合 計		100,329
合 計		1,068,278

12 消防職員特殊技能その他資格取得状況

(令和2年4月1日現在)

(単位:人)

免許種別		階級別	合計	消防司令長	消防司	消防令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員		
自動車運転免許	一 種	大 型	73		15	22	24	8	4				
		中 型	21	1		5	6	4	3	2			
		準 中 型	2							2			
		普 通	94		15	23	27	13	16				
	二 種	大 型	1			1							
		自動二輪	普 通	26		7	5	7	4	2	1		
		大 型	16		1	5	7	1	2				
	大 型 特 殊		7		1	3	3						
	け ん 引		3		1	2							
消防設備士	甲 種	第 1 類											
		第 4 類											
		第 5 類											
	乙 種	第 1 類	1			1							
		第 4 類	2					2					
		第 5 類											
		第 6 類	10		2	3	4				1		
		第 7 類	1					1					
		丙 種											
危険物取扱者	乙 種	第 1 類	7			2	1	2	2				
		第 2 類	4				1	2	1				
		第 3 類	6			2	1	1	2				
		第 4 類	72		8	23	23	9	9				
		第 5 類	4				1	2	1				
		第 6 類	7		1	2	1	2	1				
予防技術検定	丙 種		9		4	2	3						
	危険物		10		3	4	3						
	防火査察		25		6	9	6	3	1				
救急救命士			消防設備	4		2	2						
認定救急救命士													
応急手当指導員													
衛生管理者(第1種)													
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任技能													
酸素欠乏・硫化水素危険物作業主任者													
小型移動式クレーン運転技能													
玉掛け技能													
安全管理者選任時研修													

階級別 免許種別		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 員
高 所 作 業 車 運 転 免 許		7			1	4	2		
フ ォ 一 ク リ フ ト 運 転 技 能									
車両系建設機械運転技能	整 地	4		1	1	1	1		
	解 体	1				1			
ガ ス 溶 接		44		10	21	11	1	1	
ア 一 ク 溶 接									
テ ク ニ カ ル ロ ー プ レ ス キ ュ ー		20		5	6	8	1		
o f f i c e - R 2 ロープレスキュー	L e v e l . 1	2			1	1			
	L e v e l . 2	2			1	1			
	L e v e l . 3	1			1				
ロ 一 ブ 高 所 作 業		11			1	9	1		
都市型搜索救助(US&R)活動(RS)講習会		2				2			
CSRM(狭隘空間における救助と医療)ペーシックコース		1				1			
ス イ フ ト ウ オ ー タ ー レ ス キ ュ ー		10		3	3	3	1		
潜 水 士		43		5	8	16	7	7	
日本公的機関 救助潜水士養成センタ (J P R C)	救 助・初級潜水士	7		4	2	1			
	安 全 潜 水 管 理 者	3			3				
	高 等 科 潜 水 士								
	普 通 科 潜 水 士	2			2				
ス キ ュ ー バ ラ イ セ ン ス		8		3	2	3			
小 型 船 舶 操 縱 士		17		4	5	8			
特 殊 小 型 船 舶 操 縱 士 (水上オートバイ)		4		3	1				
P W C (ジェットレスキュードライバー)									
P W C (ジェットレスキューレスキュアー)		9			3	3	2	1	
ベ ー シ ジ ク サ ー フ ライフセービング		5				4	1		
防 災 士		2		1		1			
防災士(地域防災推進員)ステップアップ課程									
毒 物 劇 物 取 扱 責 任 者		1					1		
火 薬 取 扱 保 安 責 任 者		1		1					
電 气 工 事 士		3			1	1		1	
ボ イ ラ 一 技 士		1					1		
小 型 ボ イ ラ 一 取 扱 者		10		1	8	1			
ア マ チ ュ ア 無 線		7		5	2				
国 内 B 級 ラ イ セ ン ス									
特殊無線技士	消 防 学 校 入 校 時 取 得	42		13	22	7			
	第 一 級 海 上 特 殊 無 線 技 士								
	第 二 級 海 上 特 殊 無 線 技 士	4				2	1	1	
	第 三 級 海 上 特 殊 無 線 技 士								
	航 空 特 殊 無 線 技 士	2				1	1		
	第 一 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士								
	第 二 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	40				20	11	9	
	第 三 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	3		1		1		1	

免許種別		階級別	合 計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	事 務 員
標準多数傷病者医療対応 (M C L S)	プロバイダー	12		2	6	2			2	
	インストラクター	3		1	2					
外傷患者に対する病院前救護 (J P T E C)	プロバイダー	14		2	4	3	3	2		
	インストラクター	4		2	2					
医療従事者蘇生トレーニングコース (I C L S)	インストラクター	2		1	1					
車両事故による外傷受傷者救出 I T L S アクセスコース	インストラクター	1			1					
エマルゴ机上訓練	プレホスピタル	2		1	1					
PEEC救急医療における精神症状評価と初期診断		4			1		3			
PPST(社会復帰・社会参加のための薬物・心理社会的治療)救急隊員用		2					1			
BLS(一次救命処置) CPR + AED講習会		1					1			
KEMAT(Kumamoto Emergency Medical Assesment&Triage)		1					1			
機 械 製 図 檢 定		2			2					
ボ ケ コ ン 檢 定		5			4	1				
情 報 处 理 檢 定		3			3					
計 算 技 術 檢 定		3			2	1				
無人航空従事者(ドローン)		1					1			
救助用ボート	I R B (クルー)	2					1	1		
	I R B (ドライバー)	3					3			
RESCUE DAY'S (レスキューデイズ)		2			2					
アリゾナボートテックスフレーム講習会										
チエーンソー(伐木等業務)		2					2			
無人航空機操縦認定者(ドローン)		16		1	4	5	4	2		
フルハーネス型安全帶使用作業特別教育		4				3	1			
火災制御(ファイヤーコントロール)講習会										
DRT 小型重機災害対応講習会										
ホルマトロ Rescue Xperience										
山岳遭難救助研修会										
JQAN スフィアスタンダード研修		2			1		1			
BHELP 標 準 コ ー ス		2			1		1			
日本D M O R T 養成研修		1					1			

13 消防相互応援協定等締結状況

(令和2年4月1日現在)

協定市町村名称等	協 定 の 内 容	締 結 年 月 日
鹿児島県	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定	平成10年 6月26日
	鹿児島県消防相互応援協定	平成18年10月25日
鹿児島市	鹿児島市と姶良市との消防・救急相互応援協定	平成22年 3月23日
	鹿児島市本城町宮前地区及び 姶良市平松福ヶ野地区の消防相互応援協定に係る覚書	平成23年12月 1日
	九州縦貫自動車道における鹿児島県ドクターヘリの 要請事案に伴う支援隊の出動等に係る申し合わせ	平成24年 3月16日
霧島市	霧島市と姶良市との消防相互応援協定	平成22年 3月23日
	隼人道路における消防相互応援協定	平成22年 3月23日
薩摩川内市	薩摩川内市と姶良市との消防及び救急業務相互応援協定	平成22年 3月23日
高速自動車道 沿線7消防本部	九州縦貫自動車道における消防相互応援協定	平成22年 3月23日
鹿児島県 30市町村	鹿児島県ドクターヘリ運航事業における 救急車搬送に関する相互応援協定	平成23年12月22日

III 警防

警
防

1 消防水利

(令和2年4月1日現在)

消火栓	防火水槽	現有基數
1, 150	211	1, 361

※ 防火水槽の数は、20t未満(24基)を含まない。

2 基準消防力

■署所の人員

(令和2年4月1日現在)

区分		基準台数 (台)	基準台数に対する 人員の基準数(人)	現有台数 (台)	現有台数に対する 人員の基準数(人)	現有人員 (人)
署 所		3		3		
消防 ・ 救 急 隊 員	指揮車	1	9	1	9	2
	水槽付消防ポンプ自動車	6	91	4	45	30
	はしご付消防自動車	1	15			
	化学消防自動車	1	15			
	救助工作自動車	1	15	2	15	10
	救急自動車	4	36	5	36	29
小計		14	181	12	105	71
通信信員			15		15	11
予防要員			19		19	4
その他の人員			17		17	14
合計			232		156	100

※ 現有台数に対する人員の基準数の算定には、非常用車両は含まない。

3 隊員及び車両配置一覧表

(令和2年4月1日現在)

車両配置先	水槽付消防ポンプ自動車(台)	小型ポンプ付積載自動車(台)	救助工作自動車(台)	高規格救急自動車(台)	人員(人)
中央消防署	※1 2	1	※2 2	※3 3	37
姶良分遣所	1	1		1	17
蒲生分遣所	1	1		1	17
合計	※1 4	3	※2 2	※3 5	71

※1 中央消防署の水槽付消防ポンプ車1台は、13m放水塔付消防ポンプ自動車である。

※2 中央消防署の救助工作車1台は、津波・大規模風水害対策車(総務省無償貸与)である。

※3 中央消防署の救急自動車(高規格1台)は、予備車である。

4 特殊機材配置一覧表

(令和2年4月1日現在)

機材名	配置先	中央消防署	始良分遣所	蒲生分遣所	合計
空 気 呼 吸 器		1 8	8	9	3 5
空 気 予 備 ボ ン ベ		3 6	1 4	3	5 3
ガ ス 檢 知 器		3	1	2	6
災 害 用 発 電 機		8	2	2	1 2
ポ ー ト パ ワ ー		1			1
エ ン ジ ン カ ッ タ ー		1	1	2	4
チ エ ー シ ゾ ー		4	1	1	6
耐 熱 服					
救 命 索 発 射 銃		4			4
ラ イ ン ラ ン チ ャ ー		1			1
三 連 は し ご		4	2	3	9
避 難 は し ご		1			1
ス ロ 一 ダ ン		2			2
空 気 式 救 助 マ ッ ト		1			1
投 光 器		7	4	3	1 4
チ ル ホ ー ル		2	1		3
エ ア ー ジ ャ ツ キ		1			1
ハ イ ジ ャ ツ キ		1			1
シ ョ ツ ク バ ー ル		1			1
ベ ン ケ イ		9	1	1	1 1
ジ エ ツ ト シ ュ ー タ ー		4	3	1 1	1 8
か ぎ 付 き は し ご		4	1	1	6
レ 斯 キ ュ ー ツ ー ル		2		1	3
ウ エ ツ ト ス ー ツ		8			8
ド ラ イ ス ー ツ					
船 型 タ ン カ		5		1	6
安 全 マ ッ ト		5	5	7	1 7
張 力 計		1	1		2
潜 水 器 具 一 式		7			7
潜 水 予 備 ボ ン ベ		1 4			1 4
陽 圧 式 化 学 防 護 服				4	4
防 毒 マ ス ク		3		4 1	4 4
防 塵 マ ス ク		9	8	2 3	4 0
放 射 線 測 定 器		1		7	8
個 人 線 量 計				2 2	2 2
救 命 ボ ー ト		3	1		4
船 外 機		3			3
エ ア ー ゾ ー		1			1
削 岩 機		1			1
都 市 型 レ 斯 キ ュ ー 用 資 機 材 一 式		1			1
エ ア ー テ ン ト		2			2
コ ン プ レ ッ サ ー		2			2
ハ ン マ ー ド リ ル		1			1

5 消防車両等の一覧表

(令和2年4月1日現在)

車名	配置先	車両番号	無線番号	車種	年式	購入年月日	ポンプ	級別	総重量(kg)	乗車人員	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	備考
広連絡車	本部	鹿児島534そ2015		ホンダ	H27	H27.10.29			1,465	5	440	169	154	
広連絡車	本部	鹿児島480つ9553		スズキ	H26	H26.6.12			1,340	4	339	147	187	
警防車	本部	鹿児島800す7720	あいしょう 警防1	トヨタ	H29	H29.3.9			2,140	7	483	188	212	
巡察車	本部	鹿児島501さ8647		日産	H18	H18.7.20			1,455	5	441	169	149	
指揮車	中央消防署	鹿児島800す607	あいしょう 中央指揮1	トヨタ	H19	H19.12.18			3,215	6	538	188	252	
水槽付ポンプ車	中央消防署	鹿児島830ち2018	あいしょう 中央1	日野	H30	H30.12.6	森田	A2	11,855	6	754	233	310	13m放水塔付消防ポンプ自動車 UR-V342G型クレーン特殊機材一覧参照 ラムゼイRE12000Rウインチ最大直引5t以上
水槽付ポンプ車	中央消防署	鹿児島831は2020	あいしょう 中央3	日野	R2	R2.3.19	森田	A2	10,875	5	705	233	300	積載水22000l
救助工作車	中央消防署	鹿児島830て119	あいしょう 中央救助1	三菱	H14	H14.2.14			9,490	5	760	222	316	
小型ポンプ付積載車	中央消防署	鹿児島883あ2018	あいしょう 中央2	ホンダ	H30	H30.2.27	トーハツ	B2	1,290	2	339	147	195	小型ポンプ(トーハツB2)
小型ポンプ付積載車	中央消防署	鹿児島80あ1382		ホンダ	H13	H13.10.19	トーハツ	B3	1,170	2	319	139	194	小型ポンプ(ラビットB3)予備車
資機材搬送車	中央消防署	鹿児島800さ7954	あいしょう 支援1	いすゞ	H17	H17.3.25			2,975	6	469	169	213	
水槽付ポンプ車	始良分遣所	鹿児島800す9370	あいしょう 支援2	日野	H31	H31.3.26			7,465	3	682	218	277	パワードート クレーン(2.96t)
水槽付ポンプ車	蒲生分遣所	鹿児島830ち2017	あいしょう 始良1	日野	H29	H29.3.23	森田	A2	10,815	5	738	233	315	圧縮空気泡消火装置 アルミ製3連梯子・積水2.0t
小型ポンプ付積載車	始良分遣所	鹿児島880あ1700	あいしょう 始良2	三菱	H28	H28.3.23	ラビット	B2	1,270	2	340	147	194	小型ポンプ(ラビットB2)
水槽付ポンプ車	蒲生分遣所	鹿児島830さ2014	あいしょう 蒲生1	日野	H27	H27.3.9	森田	A2	10,915	5	740	233	300	四輪駆動・圧縮空気泡消火装置 アルミ製3連梯子・積水2.0t
小型ポンプ付積載車	蒲生分遣所	鹿児島880あ247	あいしょう 蒲生2	ダイハツ	H18	H18.10.20	トーハツ	B3	1,240	2	339	147	198	小型ポンプ(トーハツB3)
津波・大規模風水害対策車	中央消防署	鹿児島831ね2020	あいしょう 中央救助2	いすゞ	R2	R2.2.28			12,155	3	841	249	374	総務省からの無償貸与、水陸両用バギー車積載 緊急消防援助隊土砂・風水害機動支援部隊登録

6 救急車両の一覧表

(令和2年4月1日現在)

車名	配置先	車両番号	車種	年式	購入年月日	級別	総重量(kg)	乗車人員	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	備考
救急中央1	中央消防署	鹿児島830 さ 9009	日産	H23	H23. 3. 18	高規格	3,275	7	564	190	249	高規格 予備車
救急中央2	中央消防署	鹿児島830 せ 2018	トヨタ	H30	H30. 3. 20	高規格	3,185	7	566	189	256	
救急中央3	中央消防署	鹿児島830 す 2019	トヨタ	H31	H31. 3. 11	高規格	3,225	7	565	189	256	
救急姶良1	姶良分遣所	鹿児島831 な 119	トヨタ	H22	H22. 1. 15	高規格	3,235	7	562	189	249	
救急蒲生1	蒲生分遣所	鹿児島830 さ 9119	トヨタ	H24	H24. 12. 5	高規格	3,185	7	562	189	255	

7 火災・救急・救助以外の出動状況

出場先別出動件数

地域別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
始 良	27	24	23	17	35	36	36	21	23	30	25	25	321
加 治 木	22	10	14	7	14	19	28	19	14	13	7	13	180
蒲 生	5	4	2	6	2	5	8	8	2	12	5	5	64
そ の 他		2			1	1					1		5
合 計	54	40	40	36	34	60	72	63	37	48	43	43	570

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

事故種別出動件数

種別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
処理外火災				2									3
怪煙調査	1		1	1	2	1	2		3		1	2	14
危険排除	1		2	1		9		2	1	3	1		20
捜索活動		1						1	1	1	1	1	5
誤報・いたずら	3	6	4	2	3		2	3		3		2	28
自然災害						19	26						45
PA連携	48	32	30	28	26	27	40	52	29	32	34	29	407
ガス漏れ													
Drliri支援		2	1	1	1	4	2	6	2	7	6	7	39
その他	助	1			1					1			3
合 計	54	40	40	36	34	60	72	63	37	48	43	43	570

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

※処理外火災とは、枯草火災等で面積が小規模かつ社会的に影響の少ないものである。

IV 救急・救助

救急
・
救助

1 所属別出場件数

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 所属名	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計		
	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等	そ の 他										
中央消防署	1	3	5	130	12	12	300	7	17	1,254	377	1	2,119	
姶良分遣所				59	7	7	158	6	6	692	233		1,168	
蒲生分遣所	1	1		33	9	5	71	1	3	301	42		1	468
合 計	2	4	5	222	28	24	529	14	26	2,247	652		2	3,755

2 所属別搬送人員

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 所属名	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等	そ の 他								
中央消防署	1	4	1	128	12	12	277	6	10	1,155	376	1,982
姶良分遣所				54	7	7	146	4	6	618	232	1,074
蒲生分遣所	1	1		34	9	5	66	1	2	288	40	447
合 計	2	5	1	216	28	24	489	11	18	2,061	648	3,503

3 所属別不搬送件数

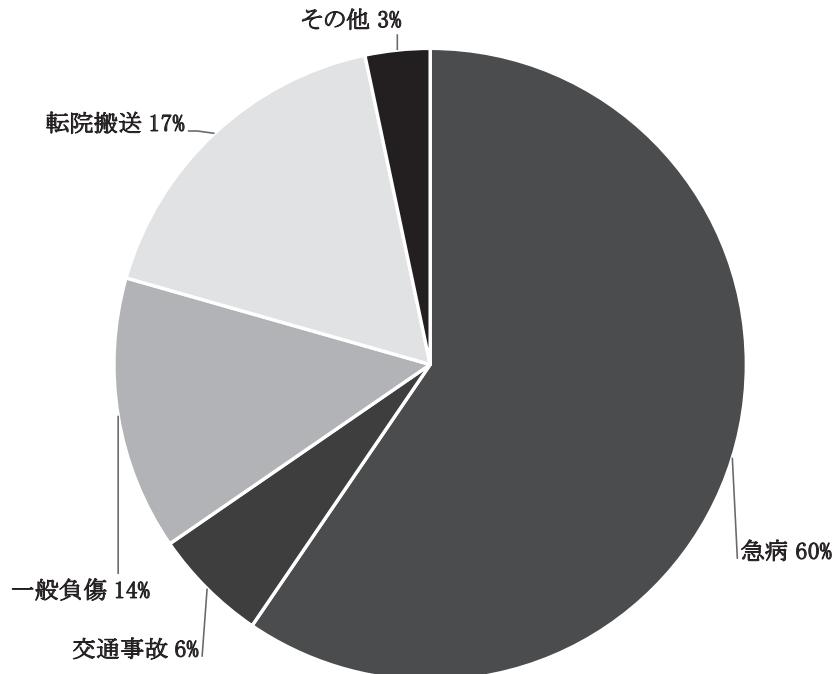
(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 所属名	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計		
	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等	そ の 他										
中央消防署			5	13			24	1	7	104	1	1	156	
姶良分遣所				7			13	2		72	1		95	
蒲生分遣所				3			5		1	13	2		25	
合 計			5	23			42	3	8	189	4		2	276

6 事故種別出場比率表

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

出動件数 3,755 件

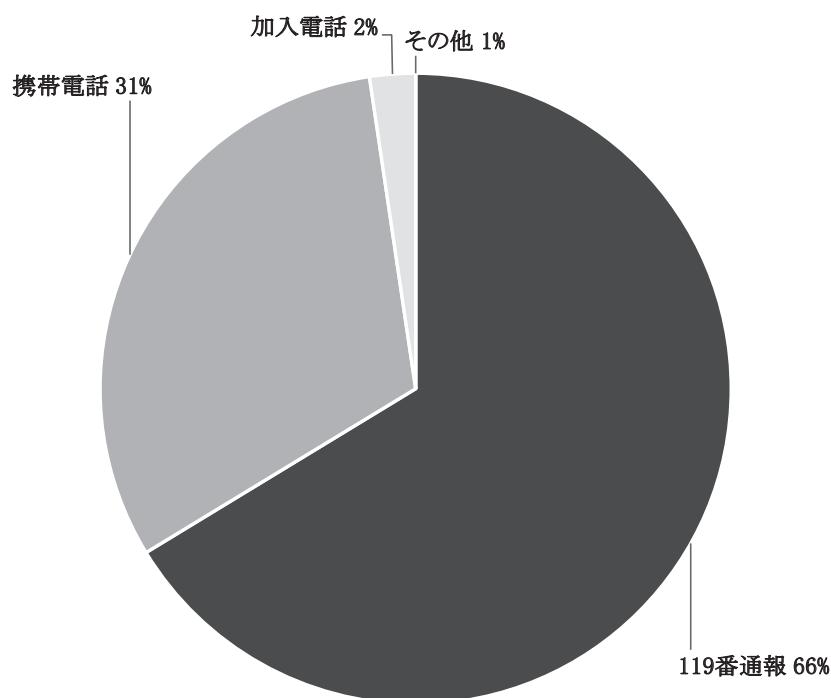


急病	2,247 件
交通事故	222 件
一般負傷	529 件
転院搬送	652 件
その他	24 件
運動競技	26 件
自損	28 件
労働災害	14 件
灾害	5 件
火災	4 件
自然災害	2 件
その他	2 件

7 覚知別出場比率表

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

出動件数 3,755 件



119番通報	2,462 件
携帯電話	1,164 件
加入電話	87 件
その他	23 件
駆け付け	3 件
警察電話	3 件
高速専用	2 件
自己覚知	9 件
消防無線	0 件
救急無線	2 件

8 管内・管外別搬送人員

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
管内に住所を有する者	2	5	1	148	14	13	453	10	18	1,904	476	3,044
管外に住所を有する者				68	14	11	36	1		157	172	459
その他												
計	2	5	1	216	28	24	489	11	18	2,061	648	3,503

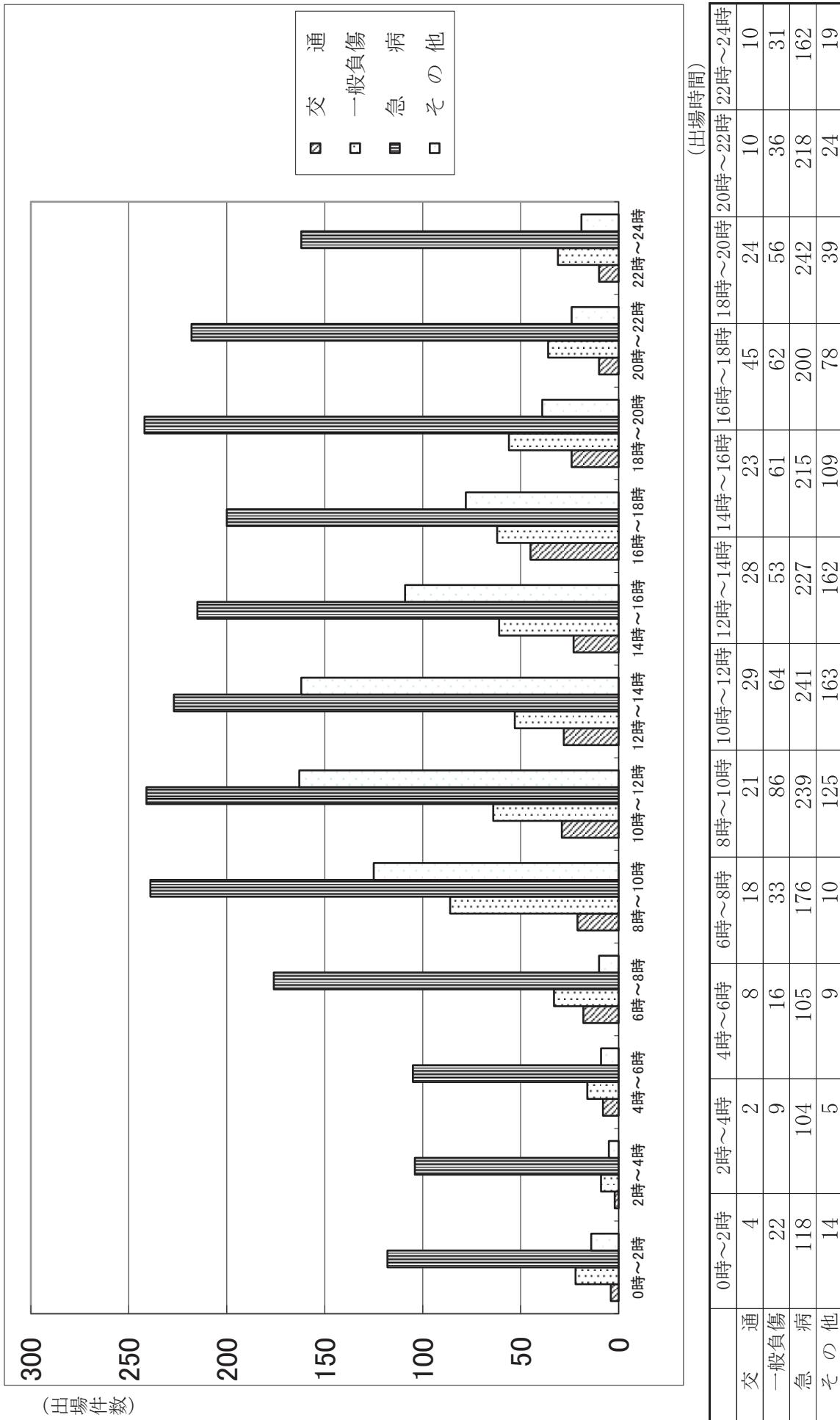
9 発生場所別搬送人員

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

発生場所 区分	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	計
急病	1,554	402	45	41	19	2,061
交通	5	6	1	204		216
一般負傷	302	108	2	51	26	489
その他	32	673	21	3	8	737
計	1,893	1,189	69	299	53	3,503

10 時間別救急出場件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)



11 事故種別・医療機関別搬送人員

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

告示の別等	事故種別 開設者別	急 病		交 通		一般負傷		その 他		計	
		う 管	ち 外								
救急告示医療機関	国 立	140	140	2	2	3	3	157	156	302	301
	公 立	108	108	10	10	19	19	165	165	302	302
	公 的	38	37			1	1	6	6	45	44
	私的 病院	1,455	137	184	26	376	47	330	159	2,345	369
	私的 診療所										
計		1,741	422	196	38	399	70	658	486	2,994	1,016
その他の医療機関	国 立	67				1		21		89	
	公 立	19				1		9		29	
	公 的	1								1	
	私的 病院	108	11	17		77		34	8	236	19
	私的 療養所	125	6	3		11	1	10	1	149	8
計		320	17	20		90	1	74	9	504	27
計	国 立	207	140	2	2	4	3	178	156	391	301
	公 立	127	108	10	10	20	19	174	165	331	302
	公 的	39	37			1	1	6	6	46	44
	私的 病院	1,563	148	201	26	453	47	364	167	2,581	388
	私的 療養所	125	6	3		11	1	10	1	149	8
計		2,061	439	216	38	489	71	732	495	3,498	1,043
その他の場所	接骨院等										
	その 他							5		5	
	計							5		5	
合 計		2,061	439	216	38	489	71	737	495	3,503	1,043

12 年齢区分別事故種別搬送人員

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

年齢区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児											2	6	8
乳幼児					3			41			117	18	179
少年					26	1	14	16			70	7	134
成人		2		1	122	23	8	67	9	12	566	181	991
老人			5		65	4	2	365	2	6	1,306	436	2,191
計		2	5	1	216	28	24	489	11	18	2,061	648	3,503

13 傷病程度性別事故種別搬送人員

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

性別	傷病程度	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死 亡	男					3			1		2	23		29
	女					2			5			18		25
	計					5			6		2	41		54
重 症	男					6	7	1	27		1	118	69	229
	女					8		1	82		1	115	78	285
	計					14	7	2	109		2	233	147	514
中等症	男				1	26	5	5	66	2	4	469	225	803
	女	1				24	3	1	72		5	497	275	878
	計	1			1	50	8	6	138	2	9	966	500	1,681
軽 症	男	1				77	11	6	137	4	3	409	1	649
	女					70	2	10	99	5	2	412		600
	計	1				147	13	16	236	9	5	821	1	1,249
その他の	男		3											3
	女		2											2
	計		5											5
合 計	男	1	3	1	112	23	12	231	6	10	1,019	295	1,713	
	女	1	2		104	5	12	258	5	8	1,042	353	1,790	
	計	2	5	1	216	28	24	489	11	18	2,061	648	3,503	

14 救急隊員の行つた応急処置件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

事故種別 傷病程度	応急処置 対象人員	止 血	固 定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生		酸素吸入	気道保	冷却	保温
						うち 自動	うち 自動				
死	亡	42					37	5	36	39	4
重	症	238		3	3		11	1	104	30	76
中等	症	954	5	3	1				193	12	365
軽	症	826	7	1					47	9	275
その他											
計		2,060	12	7	4			48	6	380	90
死	亡	5		4				3		5	4
重	症	14		11						4	2
中等	症	50	5	37						1	14
軽	症	147	3	102						1	30
その他											
計		216	8	154				3		11	6
死	亡	6						6		5	6
重	症	111	2	19				4		14	5
中等	症	134	12	25						10	25
軽	症	238	40	28						6	2
その他											
計		489	54	72				10		35	13
死	亡	2						2		2	118
重	症	159		16	4					69	6
中等	症	522	4	11						146	5
軽	症	44	4	8							
その他		3									
計		730	8	35	4			2		217	13
死	亡	55		4				48	5	48	5
重	症	522	2	49	7			15	1	191	43
中等	症	1,660	26	76	1					350	17
軽	症	1,255	54	139						54	11
その他		3									
計		3,495	82	268	8			63	6	643	122
											1,131

事故種別	応急処置 傷病程度	在宅療法継続						その他の応急処置	血圧測定	聴診器による心・呼吸音の聴取	血中酸素飽和度の測定	心電図	計
		※A	※B	※C	血糖測定	除細動	静脈路確保 (輸液)						
急	死 亡	1		1	4	6	2	37	14	13	14	42	249
	重 症	2	5		5	6	3	1	236	233	117	233	198
	中 等 症	6	15		2	13	15	2	1	951	947	951	636
	軽 症	5	4		4	13	4	4	823	791	306	823	428
病	そ の 他												3,540
	計	13	25		2	23	34	6	15	8	2,047	1,982	883
	死 亡	2						1	1	5	2	4	2
	重 症	2							14	14	7	14	5
交 通	中 等 症	17							50	50	28	50	16
	軽 症	34							147	147	63	147	19
	そ の 他												693
	計	55							1	1	216	213	102
一 般	死 亡								4		3		6
	重 症	4	1		1				110	108	30	108	28
	中 等 症	25	3		3				134	133	39	134	49
	そ の 他								238	222	48	237	39
負 傷	死 亡												1,038
	重 症												589
	中 等 症												1,074
	そ の 他												30
傷	死 亡												38
	重 症												756
	中 等 症												439
	そ の 他												2,248
の 他	死 亡												183
	重 症	3	1		1				157	157	48	159	76
	中 等 症	3	1		1				521	514	148	515	206
	そ の 他								44	44	8	44	11
合	死 亡								3	3	3	3	9
	重 症	11	7		1	6	6	2	517	512	202	9	307
	中 等 症	51	19		2	17	15	2	1	1,656	1,641	662	1,650
	そ の 他								5	4	1,252	1,204	425
計	計	198	31		3	28	34	6	19	11	3,476	3,376	1,310
	計												15,977

(注) 1 本表は、傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った救急処置について、その処置の対象となつた傷病者の数及び処置件数を記載しております。

2 在宅療法継続欄 ※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った数。

※Bは、気管切開孔又は、気管・人工肛門等の外婁が施されている傷病者に対して応急処置を行った数。

※Cは、※A※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った数。

15 現場到着所要時間別出場件数

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

現場到着 事故種別	3 分未満	3~5 分未満	5~10 分未満	10~20 分未満	20 分以上	計	現場到着最短	現場到着最長	現場到着平均
急 病	19	108	1,541	553	26	2,247	0	44	8.3
交 通	2	15	143	56	6	222	1	49	8.8
一 般 負 傷	3	26	351	136	13	529	1	30	8.5
そ の 他	9	123	505	114	6	757	1	36	7.3
計	33	272	2,540	859	51	3,755			

16 収容所要時間別搬送人員

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

収容所要時間 事故種別	10 分未満	10~20 分未満	20~30 分未満	30~60 分未満	60~120 分未満	120 分以上	計	収容最短所要時間(分)	収容最長所要時間(分)	収容平均所要時間(分)						
	うち管外	うち管内	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外		うち管外	うち管外	うち管外						
急 病		37		479	4	1,355	302	205	130	5	3	2,061	439	10	167	40.3
交 通		3		34		149	17	30	21			216	38	15	97	42.3
一 般 負 傷		5		121		309	37	54	34			489	71	16	119	40.5
そ の 他		26		128	7	521	437	62	51			737	495	15	114	41.2
計		71		762	11	2,334	793	351	236	5	3	3,503	1,043			

17 事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

事故種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他	計
新生児	死 亡											
	重 症										1	1
	中等症									2	5	7
	軽 症											
	その 他											
										2	6	8
乳幼児	死 亡									1		1
	重 症				1					1	4	6
	中等症				1		2			19	14	36
	軽 症				1		39			96		136
	その 他											
										117	18	179
少年	死 亡											
	重 症											
	中等症				5	1	3			15	7	31
	軽 症				21		11	16		55		103
	その 他											
										70	7	134
成人	死 亡				2					1	6	9
	重 症				6	4	2	8		2	33	34
	中等症	1		1	23	7	2	22	2	8	226	147
	軽 症	1			91	12	4	37	7	1	301	
	その 他											
										566	181	991
老人	死 亡				3			6		1	35	
	重 症				7	3		103			204	109
	中等症				21		1	110		2	692	326
	軽 症				34	1	1	146	2	3	375	1
	その 他		5									5
										1,306	436	2,191
合計	死 亡				5			6		2	42	
	重 症				14	7	2	111		2	238	148
	中等症	1		1	50	8	6	134	2	10	954	499
	軽 症	1			147	13	16	238	9	4	827	1
	その 他		5									5
										2,061	648	3,503

18 過去5か年の出場状況

(平成 27 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別等 年	出場件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	協定搬送
平成 27 年	3,358	2		1	260	22	19	484	8	30	1,918	614	
平成 28 年	3,504	1		4	252	28	33	511	12	17	2,068	576	
平成 29 年	3,525	1		4	223	33	53	530	7	24	2,077	573	
平成 30 年	3,675	1	1	3	220	43	28	509	14	44	2,133	679	
令和元年	3,755	2	4	5	222	28	24	529	14	26	2,247	654	

19 出場先別出場件数

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別等 市町村等	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他の			合計	
											転院搬送	医師搬送	資器材等		
姶良	2	2	3	125	12	9	332	8	16	1,378	376			1	2,264
加治木		2	2	64	10	9	141	5	8	644	262				1,147
蒲生				26	6	6	56	1	2	223	14			1	335
鹿児島市															
霧島市											1				1
薩摩川内市				1											1
高速道路				6							1				7
ドクターヘリ															
合計	2	4	5	222	28	24	529	14	26	2,247	652			2	3,755

20 出場先別搬送人員

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 出場地区	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
姶良	2	2		124	12	9	306	6	13	1,266	375	2,115
加治木		3	1	62	10	9	130	5	3	583	259	1,065
蒲生				25	6	6	53		2	211	14	317
鹿児島市												
霧島市												
薩摩川内市												
高速道路				5						1		6
ドクターへり												
合計	2	5	1	216	28	24	489	11	18	2,061	648	3,503

21 出場先別不搬送件数

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 出場地区	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
姶良			3	13			27	2	3	114	2	164
加治木			2	5			12		5	62	3	89
蒲生				3			3	1		12	1	20
鹿児島市												
霧島市										1		1
薩摩川内市				1								1
高速道路				1								1
ドクターへり												
合計			5	23			42	3	8	189	6	276

22 管内病院等情報

■姶良地区

(令和2年4月1日現在 併科…2科以上の病院・医院)

病院・診療所名	診療科目	ベッド数	備考
青雲会病院	併科	136	救急告示医療機関
希望ヶ丘病院	併科	90	
野元内科医院	内科・小児科		
クオラリハビリテーション病院あいら	併科	96	
こどもクリニック山崎	小児科		
尾田内科胃腸科	併科	19	
山下わたる内科	併科	19	
徳重医院	併科		
久永医院	併科	15	
内倉外科医院	併科		
姶良市立北山診療所	内科・小児科		
県立姶良病院	併科	334	
中西医院	併科		閉院
よしだ内科クリニック	併科		
竹内レディースクリニック	産婦人科	19	
朝日ヶ丘クリニック	併科		
前田皮膚科	皮膚科		
田中眼科医院	眼科		
あいら小児科	小児科		
荒武整形外科クリニック	併科		
耳鼻咽喉科おおのクリニック	耳鼻咽喉科		
たけうちクリニック	併科	19	
川原腎泌尿器科クリニック	泌尿器科	17	
ひふ科形成外科西クリニック	皮膚科		
やなせ整形外科	整形外科	19	
こまき内科循環器科クリニック	併科		
中馬クリニック	内科・消化器科		
錦江クリニック	併科	19	
河俣内科	併科		
ながた脳神経科	脳神経外科		
たかひろ眼科	眼科		
いわつぼ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科		
でぐち耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科		
有村クリニック	内科		
帖佐こどもクリニック	小児科・腎臓内科・アレルギー科		
立花こどもクリニック	小児科・アレルギー科		
あいら糖尿病・甲状腺クリニック	併科		
せいあいクリニック	内科・消化器内科・胃腸内科		

こどもとアレルギーのクリニック けいあいら	小児科・アレルギー科		
あいら中央眼科	眼科		

■加治木地区

病院・診療所名	診療科目	ベッド数	備考
大井病院	併科	119	救急告示医療機関
フィオーレ第一病院	産婦人科	26	
独立行政法人国立病院機構南九州病院	併科	475	
徳重クリニツク	併科		
西眼科医院	眼科		
加治木記念病院	併科	200	
川畠内科医院	併科		
加治木温泉病院	併科	350	救急告示医療機関
すこやかクリニック(鬼丸小児科)	小児科		
加治木整形外科病院	併科	51	救急告示医療機関
港町クリニツク	併科		閉院
ザ王病院	併科	146	
松下亮治内科	併科		
加治木中央クリニック	併科	19	
浜崎クリニック	内科		
おばた泌尿器科・ひふ科	併科		閉院
西園耳鼻咽喉科クリニック	耳鼻咽喉科		
川島クリニック	併科		
さんもう内科	内科		
四本信一皮膚科	皮膚科		
なかむら小児科	小児科		
始良みやもと眼科	眼科		
やまのクリニック	併科		
しらたにメンタルクリニック	併科		閉院

■蒲生地区

病院・診療所名	診療科目	ベッド数	備考
原田内科	内科・循環器科		
伊地知医院	併科	9	
吉留クリニック	併科	19	

23 鹿児島県ドクターへり

ドクターへりとは、救急専用の医療機器を装備したヘリコプターに救急医療の専門医及び看護師等が搭乗し、消防機関の要請により救急現場に向かい、救急現場から医療機関に搬送する間、傷病者に救命医療を行うことのできる救急専用ヘリコプターをいい、急病・事故等で早期治療の開始・早期医療機関への搬送により、救命率向上や後遺症の軽減を図ることを目的とし、鹿児島県で平成23年12月26日から運航開始されました。

姶良市管内ランデブーポイント（消防機関とドクターへりの合流・連携地点）47か所

(令和2年3月31日現在)

姶良地区		
1	姶良市立帖佐小学校	姶良市鍋倉663
2	帖佐グラウンド	姶良市西餅田1433-1
3	姶良市立帖佐中学校	姶良市西餅田1586
4	姶良ニュータウン中央公園	姶良市西姶良3丁目11
5	姶良公民館	姶良市西餅田589
6	思川公園	姶良市西餅田3311-1
7	姶良市総合運動公園野球場	姶良市西餅田2392
8	姶良市立姶良小学校	姶良市西餅田2726
9	鹿児島県立姶良高等技術専門校	姶良市西餅田1120
10	西元グラウンド	姶良市東餅田3842付近
11	白銀森林公园 多目的広場	姶良市平松5693-1
12	姶良市立重富中学校	姶良市平松7092
13	鹿児島県警察学校	姶良市平松4211-1
14	姶良市立重富小学校	姶良市平松5636
15	西宮島公園	姶良市西宮島町7-2
16	船津公園	姶良市船津1502
17	姶良市立西姶良小学校	姶良市西姶良1丁目37-1
18	姶良市立山田中学校	姶良市下名977
19	姶良市立北山小学校	姶良市北山3783
20	旧堂山小学校跡地	姶良市北山2712
21	姶良市役所木津志出張所	姶良市木津志1844-2
22	姶良市立三船小学校	姶良市増田399
加治木地区		
23	姶良市役所加治木総合支所	姶良市加治木町本町253
24	加治木龍門陶芸健康の里 陶夢ランド	姶良市加治木町小山田1583-1
25	鹿児島国際ゴルフ俱楽部	姶良市加治木町小山田5732
26	高岡公園	姶良市加治木町西別府2944
27	姶良市立永原小学校	姶良市加治木町西別府594
28	姶良市立柁城小学校	姶良市加治木町仮屋町248
29	鹿児島県立加治木高等学校	姶良市加治木町仮屋町211
30	鹿児島県立加治木工業高等学校	姶良市加治木町新富町131
31	姶良市立加治木小学校	姶良市加治木町反土2955
32	姶良市立加治木中学校	姶良市加治木町反土2162
33	姶良市立錦江小学校	姶良市加治木町錦江町74
34	鹿児島県トラック協会加治木ソフトボール場	姶良市加治木町木田1396-2
35	姶良市加治木運動場	姶良市加治木町木田5348-185
36	学校法人鹿児島学園龍桜高等学校	姶良市加治木町木田5348
37	加治木港	姶良市加治木町港町
蒲生地区		
38	姶良市立漆小学校	姶良市蒲生町漆317
39	姶良市立蒲生中学校	姶良市蒲生町北10
40	スポレク広場（陣ヶ丘）	姶良市蒲生町北2232
41	鹿児島県立蒲生高等学校	姶良市蒲生町下久徳848
42	新留コミュニティスポーツ広場	姶良市蒲生町白男2832-1
43	旧新留小学校跡地	姶良市蒲生町白男3215
44	旧大山小学校跡地	姶良市蒲生町白男5522-1
45	姶良市立西浦小学校	姶良市蒲生町西浦815
46	高牧カントリー練習場	姶良市蒲生町久末2489-1
47	白男地区運動公園	姶良市蒲生町白男1692-1

鹿児島県ドクターへり運航状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

要請件数	出 場		未 出 場				
	現場搬送	施設間搬送	出場前キャンセル	出場後キャンセル	時間外要請	天候不良	重複要請
81件	41件	6件	4件	2件	1件	7件	20件

24 姶良市救急医療情報キット 「急救あんしんキット」

高齢者や障害者等の安全・安心を確保することを目的に「緊急連絡先」「かかりつけ医」「持病」「服薬情報」「健康保険証コピー」「本人写真」などの情報を専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、救急隊等が情報をもとに適切な処置及び適切な医療機関へ搬送するものです。

【平成23年9月1日 申請受付 配布開始】

配布対象世帯

キットの配布を受けることができる世帯は、姶良市内に居住し、かつ、次のいずれかに該当する者が属する世帯です。

- 65歳以上の者
- 身体障害者手帳の交付を受けた者
- 療育手帳の交付を受けた者
- 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
- 特定疾患医療受給者証の交付を受けた者
- 市長が必要と認める者

(平成23年9月1日～令和元年12月31日)

姶良市管内 姶良あんしんキット登録数 3,068名

25 「始救あんしん携帯カード」

平成24年9月9日(救急の日)から配布開始!



外出時等、急病や事故等に遭遇した時に役立つ携帯カード

始救あんしん携帯カード

始救あんしん携帯カードとは

このカードは、市民の皆様が自宅や外出先などで、急病や事故等に遭遇し救急車等を呼んだ際、本人や家族の意思で関係者に提示していただくことにより、救急活動や病院への連絡をスムーズに行うためのものです。

配布対象者は

始救あんしん携帯カードを希望される姶良市民

始救あんしん携帯カードの配布場所等

- (1) 姉良市役所本庁:危機管理室、社会福祉課、長寿・障害福祉課、健康増進課
- (2) 姉良市役所加治木総合支所:加治木地域振興課、加治木福祉係
- (3) 姉良市役所蒲生総合支所:蒲生地域振興課、蒲生福祉係
- (4) 姉良市消防本部:警防課または消防本部ホームページ
(<http://www.city.aira.lg.jp/shobo/index.html>) からダウンロード

始救あんしん携帯カードの活用方法

- (1) 消防本部ホームページからダウンロードする。
- (2) 始救あんしん携帯カードの用紙に各個人責任の下、裏表に必要事項を記入し、必要部分を切り取って、四つ折りにしてたたんで免許証入れや財布等に入れ、有事の際に活用(救急隊等に提示していただく)する。
- (3) 始救あんしんキットと併用して活用すると更に効果的です。

27 救助活動状況

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 区分	交通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他	合 計
出 動 件 数	27	4			5			12	48
活 動 件 数	27	3			5			12	47

28 事故種別発生場所出動件数

(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)

事故種別 区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 事 故	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他	合 計
屋 内	住 居					5			4	9
	その他の屋内									
道 路	高 速		1							1
	その他の道路		24							24
屋 外	内 水 面			3						3
	外 水 面								1	1
	山 岳									
	その他の屋外		1						7	8
	そ の 他		1	1						2
	計		27	4		5			12	48

V 予 防

予
防

1 防火対象物現況

(令和元年12月31日現在)

令 別 表 区 分				計
1	イ		劇場・映画館・演芸場・観覧場	7
	ロ		公会堂・集会場	47
2	イ		キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ		遊技場・ダンスホール	14
3	ハ		性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ		カラオケボックスその他遊興のための施設	5
4	イ		待合・料理店等	1
	ロ		飲食店	117
5		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場		150
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等		70
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		471
6	イ	(1)	病院・診療所・助産所	8
		(2)		4
		(3)		46
		(4)		59
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	44
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		3
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	28
		(2)		
		(3)		48
		(4)		14
		(5)		37
	ニ	幼稚園・特別支援学校		13
7		小学校・中学校・高等学校・大学等		177
8		図書館・博物館・美術館等		11
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		14
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場		5
11		神社・寺院・教会等		42
12	イ	工場・作業場		241
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場		39
	ロ	飛行機又は回転翼飛行機の格納庫		
14		倉庫		190
15		前各項に該当しない事業所		357
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物		116
	ロ	上記以外の複合用途対象物		31
17		文化財等		
18		延長50m以上のアーケード		
合			計	2,409

3 予防査察実施状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

令 別 表 区 分				実施回数
1	イ		劇場・映画館・演芸場・観覧場	6
	ロ		公会堂・集会場	33
2	イ		キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ		遊技場・ダンスホール	6
3	ハ		性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ		カラオケボックスその他遊興のための施設	3
4	イ		待合・料理店等	
	ロ		飲食店	35
5	イ		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	78
6	ロ		旅館・ホテル・宿泊所等	35
			寄宿舎・下宿・共同住宅	117
7	イ	(1)	病院・診療所・助産所	14
		(2)		3
		(3)		25
		(4)		23
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	43
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		3
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	22
		(2)		
		(3)		42
		(4)		5
		(5)		23
8	ニ		幼稚園・特別支援学校	13
9	イ		小学校・中学校・高等学校・大学等	109
10	ロ		図書館・博物館・美術館等	7
11	イ		蒸気浴場・熱気浴場等	
	ロ		イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	7
12	イ		車両の停車場・船舶、航空機の発着場	
13	ロ		神社・寺院・教会等	18
14	イ		工場・作業場	105
	ロ		映画スタジオ・テレビスタジオ	
15	イ		自動車車庫・駐車場	17
	ロ		飛行機、回転翼飛行機の格納庫	
16	イ		倉庫	75
17	ロ		前各項に該当しない事業所	126
18	イ		特定防火対象物の存する複合用途対象物	46
	ロ		上記以外の複合用途対象物	6
合			文化財等	
合			延長50m以上のアーケード	
			計	1,045

4 危険物施設の数量及び類別状況

(令和元年12月31日現在)

製造所等の別 数量別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
			屋 内 貯 藏 所	屋 外 タ ン ク 貯 藏 所	屋 内 タ ン ク 貯 藏 所	地 下 タ ン ク 貯 藏 所	簡 易 タ ン ク 貯 藏 所	移 動 タ ン ク 貯 藏 所	屋 外 貯 藏 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
計	168	0	14	21	1	42	0	13	5	54	0	0	1	17
指 定 数 量 別	5倍以下	50		5	8	1	18		3	2	6			8
	5倍を超え 10倍以下	38		4	5		14			2	6			6
	10倍を超え 50倍以下	42		5	3		10		5	1	16			2
	50倍を超え 100倍以下	8							5		3			
	100倍を超え 150倍以下	6									6			
	150倍を超え 200倍以下	4									4			
	200倍を超え 1,000倍以下	17			3						13			1
	1,000倍を超え 5,000倍以下	2			2									
	5,000倍を超え 10,000倍以下	1												1
	10,000倍を 超えるもの													

5 危険物関係施設の査察実施状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

施 設 別	査 察 実 施 数	査 察 延 回 数	備 考
屋 内 貯 藏 所	6	6	
屋 外 貯 藏 所	2	2	
屋内タンク貯蔵所	1	1	
屋外タンク貯蔵所	7	7	
地下タンク貯蔵所	26	26	
簡易タンク貯蔵所	0	0	
移動タンク貯蔵所	13	13	
給 油 取 扱 所	39	39	
移 送 取 扱 所	0	0	
一 般 取 扱 所	9	9	
合 計	103	103	

6 各種届出処理状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

件 名	煙 火 打 ち 上 げ	林火 災 と 野 ま ぎ ら わ し 入 い 届 出	露 店 等 の 開 設 届 出	少指 量定 危可 険燃 物物 届 出	液圧 縮化 アセ チ油 ンガ スス 届 出	ボカ イ ラ ー 設 置 届 出	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	変蓄 電電 設 備 等 着 工 届 出	水素 ガス 気球 の 設 置 届 出	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	計	
件数	33	241	84	8	33	17	297	29	3	27	772	

9 消防クラブ結成状況

(令和元年 12 月 31 日現在)

消防クラブ名	発足年月日	人員	所在地
川野保育所幼年消防隊	昭和 59. 8. 1	39	姶良市加治木町木田 757
建昌保育園幼年消防クラブ	昭和 59. 10. 30	27	姶良市東餅田 2608
大楠ちびっこ園 幼年消防クラブ	昭和 60. 10. 8	46	姶良市蒲生町上久徳 1194-18
ひまわり保育園幼年消防隊	昭和 62. 4. 1	15	姶良市加治木町木田 1882
高井田保育園幼年消防隊	昭和 62. 6. 1	30	姶良市加治木町木田 4872-2
かづみ保育園幼年消防隊	昭和 62. 7. 21	12	姶良市加治木町反土 1420-1
啓明幼稚園幼年消防隊	平成 2. 6. 26	60	姶良市池島町 31-7
薰光幼稚園幼年消防隊	平成 2. 6. 26	65	姶良市松原町 1-17-9
西浦小学校少年消防クラブ	平成 10. 6. 10	16	姶良市蒲生町西浦 815
漆小学校少年消防クラブ	平成 10. 6. 13	29	姶良市蒲生町漆 317

VI 火 災

火
災

1 火災の発生状況

令和元年中（平成 31 年中）における当市の火災発生件数は、39 件で前年と比較して 12 件の増である。その内訳は、建物火災 21 件（前年比 7 件増）・林野火災 3 件（前年比同）・車両火災 3 件（前年比 2 件増）・その他火災 12 件（前年比 3 件増）となっている。

また、建物焼損床面積は、3,630 m²で前年と比較して 3,429 m²増加している。

損害額は 175,629 千円で、前年と比較して 170,189 千円増加している。

出火原因は「火入れ」が 11 件で最も多く、次いで「こんろ」が 3 件となっている。

火災による死傷者は、負傷者 4 名（前年比 3 名増）が発生している。

2 火災概要

（平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日）

区分	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計
件 数	21 件	3 件	3 件	12 件	39 件
焼損面積	3, 630 m ²	114 a		17, 183 m ²	

3 焼損状況

（平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日）

建物火災	住 宅	全 燃 (棟)	12	
		半 燃 (棟)	2	
		部 分 燃 (棟)	4	
		ぼ や (棟)	10	
		計 (棟)	28	
	非 住 家	全 燃 (棟)	6	
		半 燃 (棟)	1	
		部 分 燃 (棟)	3	
		ぼ や (棟)	4	
		計 (棟)	14	
損害額		建 物 火 災(千円)	174, 463	
		林 野 火 災(千円)	114	
		車両・その他火災(千円)	1, 052	
		計(千円)	175, 629	

5 死傷者・り災世帯数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

死 傷 者	死 者	0名
	傷 者	4名
り 災 世 帯 数		25世帯
り 災 者 数		59人
1か月平均出火件数		3.25件
火災1件当たり損害見積額		4,503千円
火災1件当たりの 平均焼損面積	建 物	173m ²
	林 野	2a
出火率(12月1日現在の人口で計算)		5%

6 過去5か年の火災発生件数及び損害額

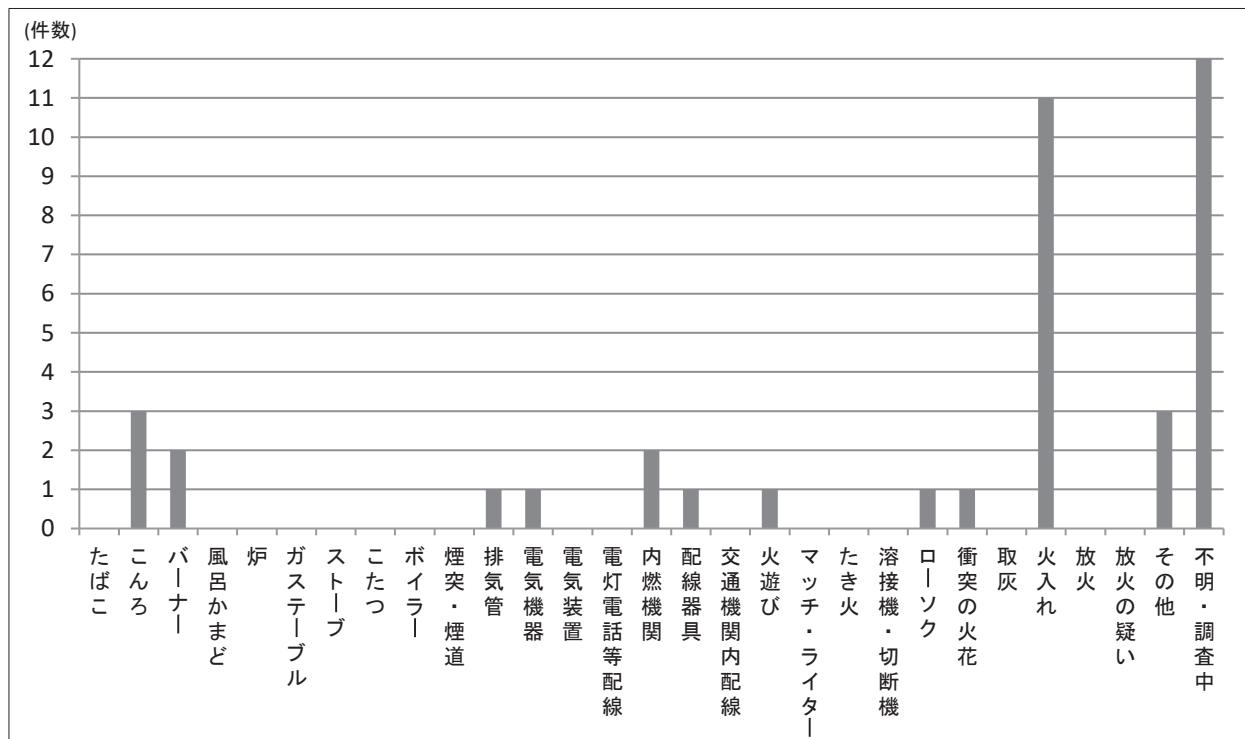
(平成27年～平成31年(令和元年))

年 区分	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	合計	損害額(千円)
平成27年	19	4	2	7	32	36,639
平成28年	19	1	1	6	27	77,342
平成29年	9		1	11	21	14,050
平成30年	14	3	1	9	27	5,440
平成31年 (令和元年)	21	3	3	12	39	175,629

7 原因別出火件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

原因別	件数	原因別	件数
たばこ		配線器具	1
こんろ	3	交通機関内配線	
バーナー	2	火遊び	1
風呂かまど		マッチ・ライター	
炉		たき火	
ガステーブル		溶接機・切断機	
ストーブ		ローソク	1
こたつ		衝突の火花	1
ボイラー		取灰	
煙突・煙道		火入れ	11
排気管	1	放火	
電気機器	1	放火の疑い	
電気装置		その他	3
電灯電話等配線		不明・調査中	12
内燃機関	2	合 計	39



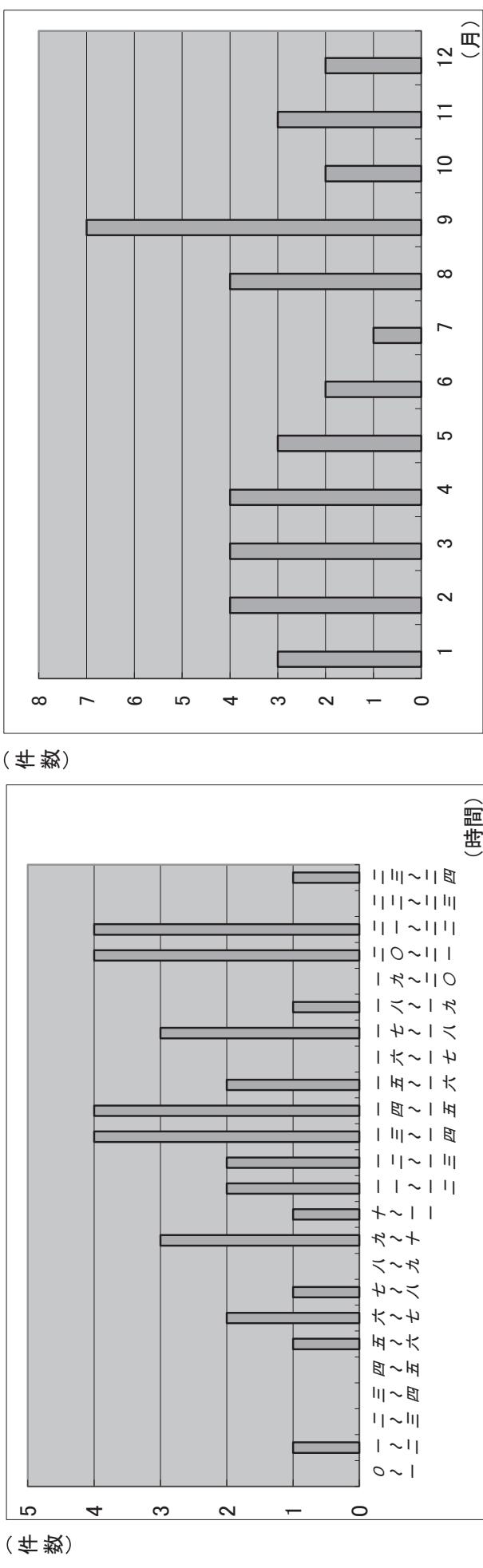
8 地域別火災発生状況及び損害額

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

種別 地域別	総計		建物火災		林野火災		車両火災		その他火災		焼損面積		り災者		死傷者		焼 損		棟 数		
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	世帯 (a)	林野 (m ²)	人員	死者	傷者	全焼	半焼	部分焼	ぼや		
始 良	22	50,444	14	49,621	1		2	823	5		1,539	1	19	50	4	8	2	2	1	9	1
加治木	8	210	2		1		1	210	4		1	4	1	2							2
蒲 生	9	124,975	5	124,842	1	114			3	19	2,090	1	5	7		4	4			1	1
合 計	39	175,629	21	174,463	3	114	3	1,033	12	19	3,630	6	25	59	4	12	6	2	1	4	3
																				10	4

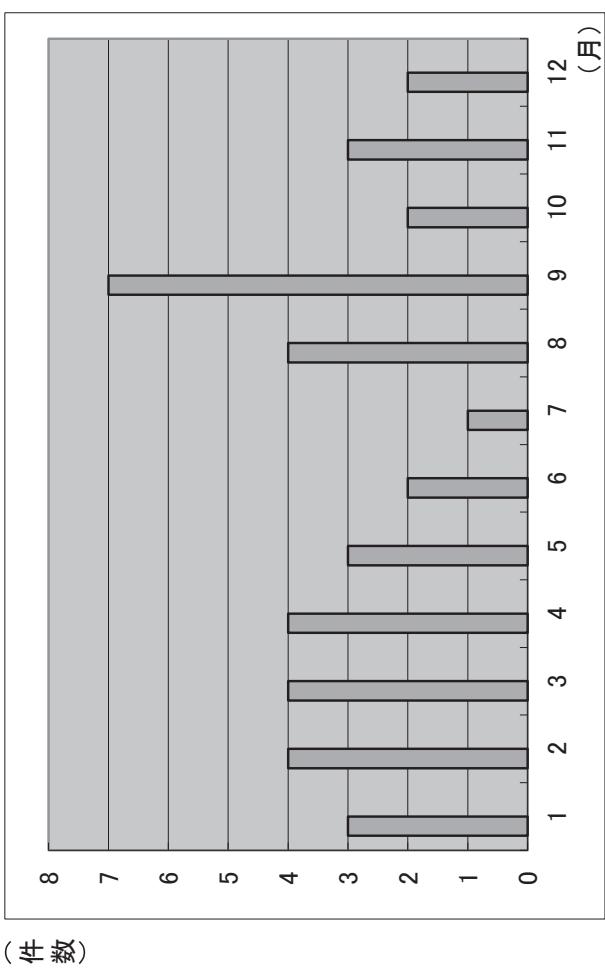
9 時間別火災発生状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)



10 月別火災発生状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)



11 月別管内合計

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

月	火災件数						焼損棟数			焼損面積			死傷者			り災世帯数			損害額(千円)															
	建	林	車	船	航	空	建	物	表	建	死	負	傷	者	者	全	半	小	り災人	建	物	林	野	車	船	航	空	機	船	機	そ	爆	発	
	計	物	野	両	舶	他	の	計	床	野	(a)	野	(a)	者	者	計	損	損	損	計	物	野	林	野	車	船	航	空	機	船	機	そ	爆	発
1月	3	1					2				1									114			114											
2月	4	2	1				1	4	2	1	1	284	13			3	2	1	5	20,903	20,693	210												
3月	4	3					1	7	2	1	4	276				1	7	2	5	18	23,713	23,713												
4月	4	2	1				1	6	4		2	446	4			3	2	1	5	7,769	7,769													
5月	3	1	1				1	1			1				1		1	1	2	19												19		
6月	2	2					4	2	1	1	414					2	1	1	2	4,761	4,761													
7月		1					1																											
8月	4	4					7	3	1	1	2	551	1			2	5	1	4	15	12,524	12,524												
9月	7	5	1				1	11	5	2	2	2,1,659	20				3	2	1	4	105,265	104,965	300											
10月	2	1					1	1			1																							
11月	3	1					2	1			1		4			1	1	1	1	8	11	11												
12月	2		1				1													523		523												
累計	39	21	3	3			12	42	18	3	7	14,3,630	38	6		4	25	10	1	14	59	175,629	174,463	114,1,033									19	

VII 消防団

消防団

1 消防団現勢

(令和2年4月1日現在)

区分	人 員 (人)			機 械 (台)				
	分団数	定 員	実 員	団本部 車両	多機能型 消防車	消防 ポンプ 自動車	小型ポン プ付積載 自動車	小型 動力 ポンプ
計	15	541	469	3	1	14	23	37

2 年齢別消防団員数（実員）

(令和2年4月1日現在)

20歳未満	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳以上	計	平均年齢
3	28	129	146	81	82	469	45.7

3 在籍年数別消防団員数（実員）

(令和2年4月1日現在)

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
117	110	73	60	59	32	18	469

4 消防団員の費用弁償

(令和2年4月1日現在)

種 別	費用弁償額（1日につき）
災害（火災・水害等）出動・訓練・警戒	5,000円
会議	4,000円

5 団員等年報酬状況

(令和2年4月1日現在)

区 分	金 額
団 長	167,000円
副 団 長	162,000円
方 面 隊 長	120,000円
分 団 長	90,000円
副 分 団 長	66,000円
部 長	57,000円
班 長	51,000円
団 員	48,000円

6 消防団幹部一覧表

(令和2年4月1日現在)

団長	副団長兼方面隊長	分団名	部名	分団長名
有村信行	始良方面隊 上野洋一	市役所分団		堀之内祐介
		重富分団	脇元	福迫弘文
			平松	
		始良分団	松原	村田新一
			建昌	
		帖佐分団	米山	上野省吾
			船津	
			三叉	
		山田分団	大山	榎田秀夫
			下名	
			上名	
		北山分団	北山	堂薦信之
			木津志	
有村信行	加治木方面隊 三宅利秋	加治木分団		吉村正和
		錦江分団		前原盛行
		永原分団	西別府	大園裕次
			辺川	
		東部分団	小山田	緒方清隆
			中野	
		大楠分団	中央	小山田章
			城	
		上場分団	漆	本村勝行
			西浦	
		白男分団	大山	湯之原哲也
			白男	
			新留	
		友徳分団	下久徳	前村博己
			米丸	
			川東	
		蒲生分団		杉尾典彦

7 消防団の人員機械配置一覧表

(令和2年4月1日現在)

方面隊名	分団名	部名	人員(人)	団本部車両 (台)	多機能型 消防車 (台)	消防ポンプ車 (台)	小型ポンプ付 積載車 (台)	小型動力 ポンプ (台)
団本部 女性消防団員(団本部付)			4	3				2
			10					1
始良方面隊	市役所分団		17		1	1		1
	重富分団	脇元	18			1		1
		平松	22			1		1
	姶良分団	松原	17			1		1
		建昌	20			1		1
	帖佐分団	米山	18			1		1
		船津	14				1	1
		三叉	16				1	1
	山田分団	大山	12				1	1
		下名	15			1		1
		上名	11				1	1
	北山分団	北山	21				3	3
		木津志	6				1	1
加治木方面隊	加治木分団		27			1	1	2
	錦江分団		25			1	1	1
	永原分団	西別府	20			1		1
		辺川	16				1	1
	東部分団	小山田	14			1		1
		中野	9				1	1
蒲生方面隊	大楠分団	中央	16			1	1	1
		城	13				1	1
	上場分団	漆	13			1	1	1
		西浦	16				1	1
	白男分団	大山	7				1	1
		白男	13				1	1
		新留	9				1	1
	友徳分団	下久徳	10				1	1
		米丸	10				1	1
		川東	14				1	1
	蒲生分団		16			1	1	2
合計			469	3	1	14	23	37

※ 団本部車両の詳細については、P. 67 「8 消防団車両の一覧表」に記載

8 消防団車両の一覧表

(令和2年4月1日現在)

番号	方 面 隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	初回登録年	使用年数
1	団本部			消防団指揮車	スズキ	鹿児島800寸2814	2010/11/5	9年4か月
2				クレーン付資機材搬送車	日野	鹿児島800寸9370	2019/3/26	1年
3				消防団広報車	ニッサン	鹿児島501ほ2791	2014/11/25	5年4か月
4	市役所分団			多機能型消防車	いすゞ	鹿児島800寸2919	2010/12/22	9年3か月
5				消防ポンプ車	三菱	鹿児島88寸6059	1995/10/24	24年5か月
6				消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ3780	2001/12/4	18年3か月
7	重富分団			消防ポンプ車	いすゞ	鹿児島800さ2303	2000/11/10	19年4か月
8				消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ6335	2003/11/14	16年4か月
9				消防ポンプ車	日野	鹿児島800寸536	2007/11/22	12年4か月
10	姶良分団			消防ポンプ車	日野	鹿児島800寸9131	2018/12/18	1年3か月
11				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800寸9708	2019/9/27	6か月
12				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88寸5219	1994/11/29	25年4か月
13	船津分団			小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88寸7223	1996/12/6	23年3か月
14				消防ポンプ車	ニッサン	鹿児島800さ5120	2002/11/25	17年4か月
15				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88寸7221	1996/12/6	23年3か月
16	始良方面隊			小型ポンプ付積載車（軽）	ホンダ	鹿児島80あ775	1995/12/21	24年3か月
17				小型ポンプ付積載車（軽）	ホンダ	鹿児島80あ776	1995/12/21	24年3か月
18				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800寸9713	2019/9/27	6か月
19	木津志			小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800寸9707	2019/9/27	6か月

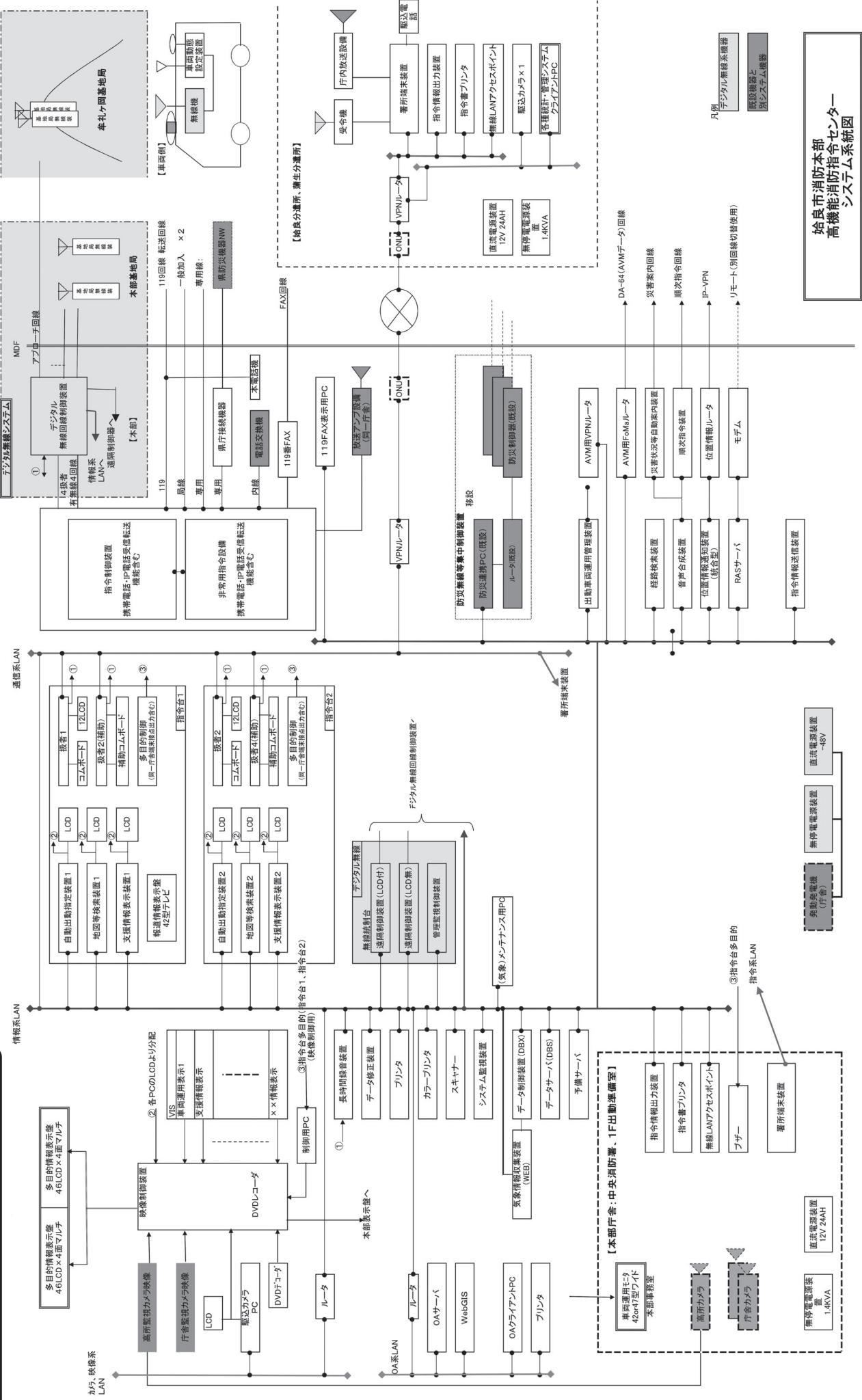
(令和2年4月1日現在)

番号	方 面 隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	初回登録年	使用年数
20	加治木分団			消防ポンプ車	日野	鹿児島800す6672	2015/11/19	4年4か月
21				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す1869	2009/8/19	10年7か月
22	錦江分団			消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ4973	2002/10/18	17年5か月
23				小型ポンプ付積載車	ニッサン	鹿児島800す4238	2012/10/19	7年5か月
24	西別府			消防ポンプ車	日野	鹿児島800す8432	2018/2/22	2年1か月
25				小型ポンプ付積載車	ニッサン	鹿児島800す4189	2012/9/21	7年6か月
26	辺 川			消防ポンプ車	日野	鹿児島800す7424	2016/10/27	3年5か月
27				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800さ7696	2005/1/18	15年2か月
28	小山田			消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ6453	2003/12/18	16年3か月
29				小型ポンプ付積載車	スバル	鹿児島880あ256	2006/11/29	13年4か月
30	中 野			小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す9254	2019/2/21	1年1か月
31				消防ポンプ車	日野	鹿児島800す6118	2015/3/6	5年
32	城			消防ポンプ車	三菱	鹿児島80あ1400	2001/12/13	18年3か月
33				小型ポンプ付積載車（軽）	トヨタ	鹿児島800す5108	2013/11/14	6年4か月
34	上場分団			漆	トヨタ	鹿児島800す8519	2018/3/14	2年
35				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す9712	2019/9/27	6か月
36	大 山			小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す7423	2016/10/27	3年5か月
37				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す3638	2011/12/26	8年3か月
38	新 留			小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す5109	2013/11/14	6年4か月
39				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す4971	2013/9/24	6年6か月
40	白男分団			消防ポンプ車	日野	鹿児島800す6119	2015/3/6	5年
41				小型ポンプ付積載車（軽）	三菱	鹿児島800あ1640	2015/11/11	4年4か月

VIII 通信・気象

通信・
気象

1 消防緊急通信指令施設構成図



3 災害種別等受信状況

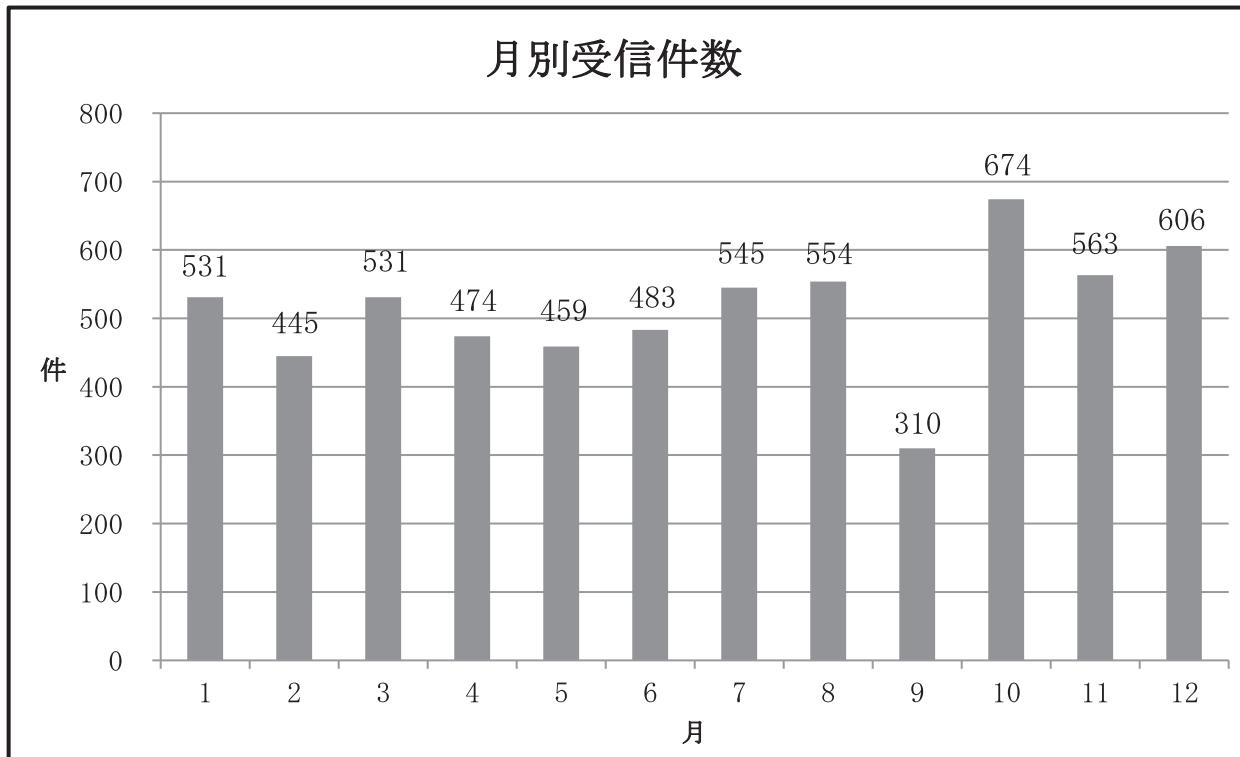
令和元年中における119番の受信総件数は、6,175件で1日平均16.9件となり
前年の6,089件に比べ86件の増となっております。

また、問合せ、いたずら等などの目的外通報が2,426件で約39.3%を占めています。
これに対し災害通報は、火災が40件で全体の約0.6%、救急が3,728件で全体の約
60.4%となっております。

以下、災害別及び各月の受信状況は、次のとおりです。

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

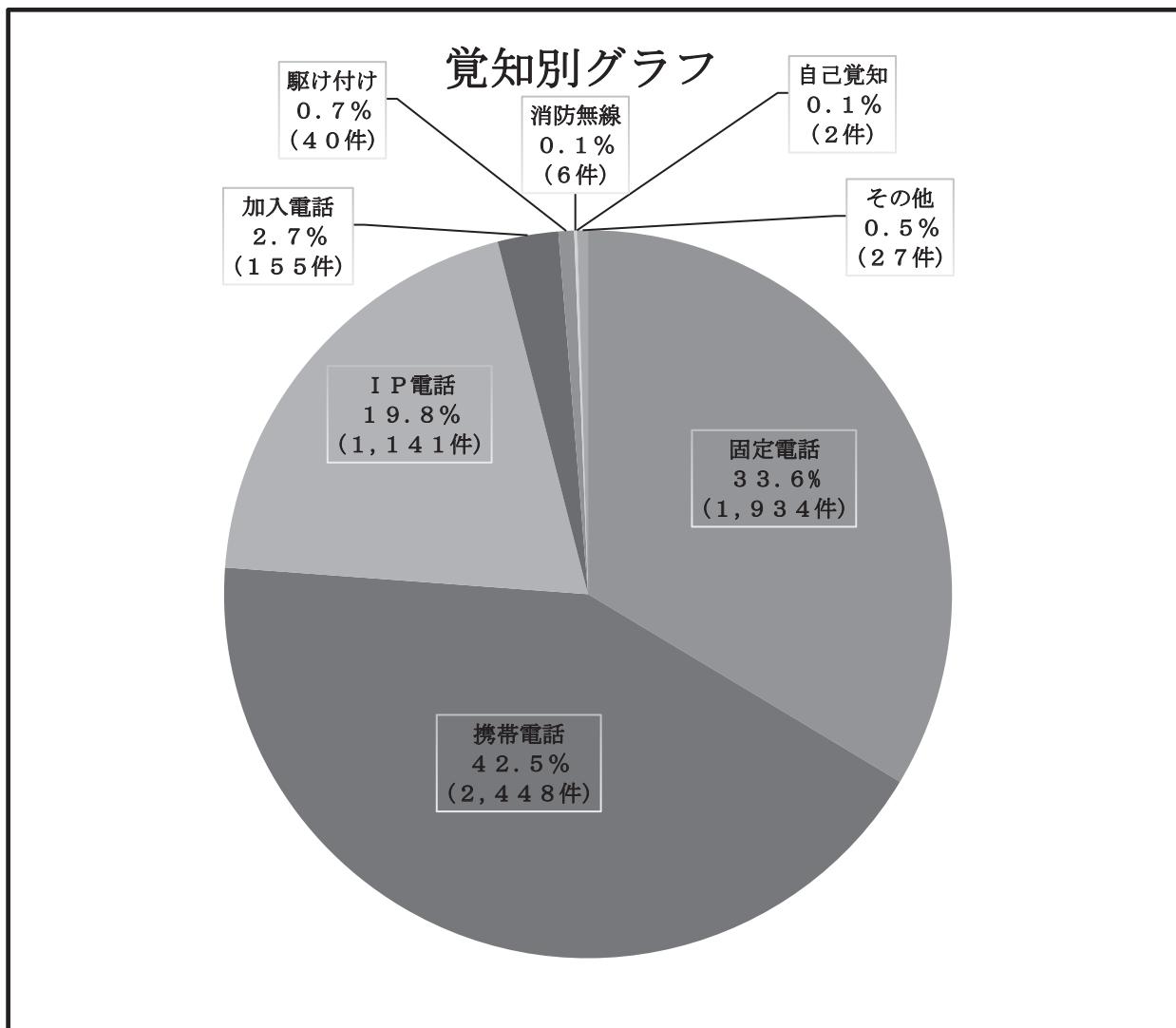
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(件)
火 災	3	4	4	4	3	2	1	4	3	6	4	2	40
救 急	315	262	274	258	234	248	266	283	157	261	254	306	3,118
救 助	4	2	9	1	1	4	3	5	1	6	3	6	45
その他	54	37	40	35	34	45	71	62	34	48	43	43	546
警 戒													
問合せ	50	31	47	46	45	35	58	59	26	63	37	30	527
119テス ト	56	78	90	82	88	107	70	74	51	222	182	180	1,280
まちがい等	49	31	67	48	54	42	76	67	38	68	40	39	619
合計	531	445	531	474	459	483	545	554	310	674	563	606	6,175



4 119番覚知別受信状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(件)
固定電話	154	139	173	176	159	160	158	162	92	202	175	184	1,934
携帯電話	232	189	230	191	183	185	240	263	130	206	177	222	2,448
IP電話	96	99	103	83	86	102	91	97	50	103	112	119	1,141
加入電話	18	11	13	10	14	15	24	9	5	12	11	13	155
駆け付け	1		2	3	7	3	3	3	2	3	7	6	40
消防無線			1			2		1			1	1	6
自己覚知							2						2
その他	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
合計	505	441	524	465	451	469	520	537	281	528	485	547	5,753

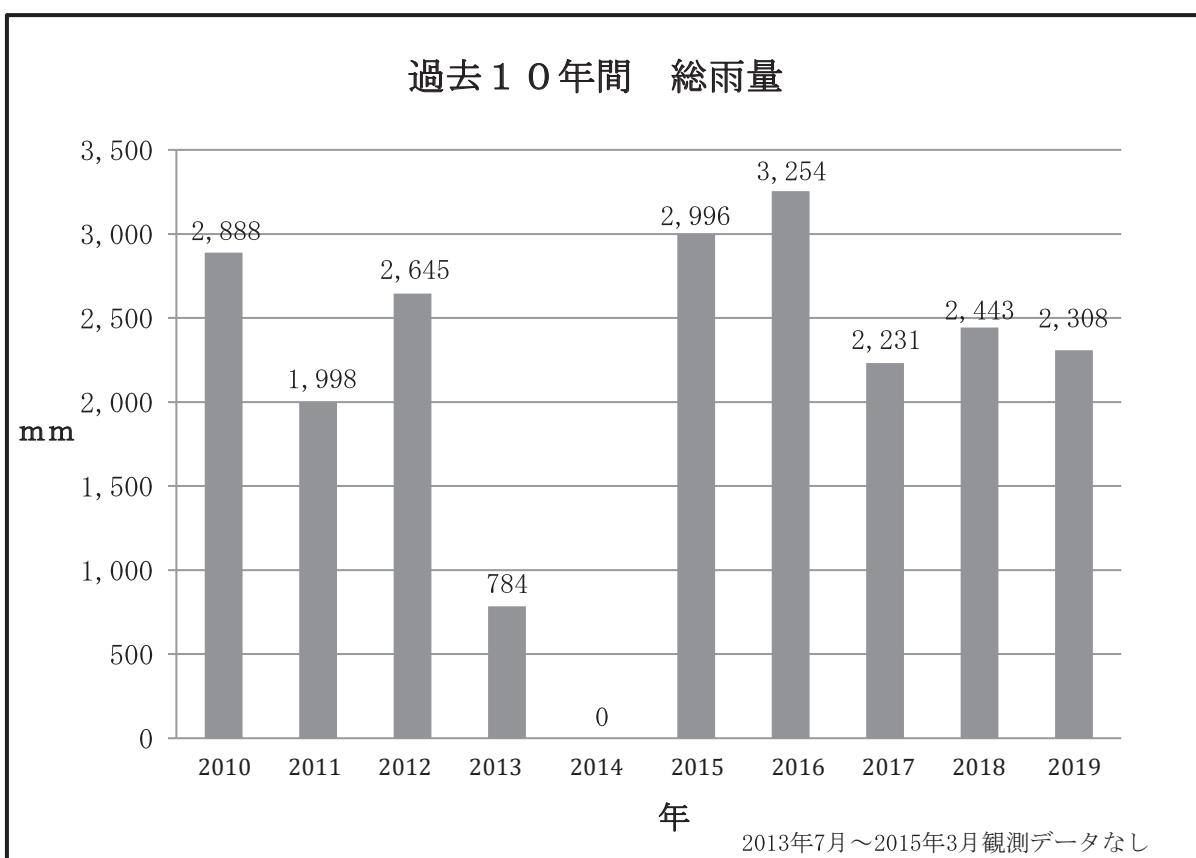


5 気象状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

月 種別	平均風速 (m/s)		瞬間最大風速 (m/s)		気温 (°C)			湿度 (%)	降雨量
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	(mm)
1	1.3	西北西	19.9	西南西	7.8	19.0	-1.8	82.6	35.5
2	1.3	西北西	18.6	西南西	9.7	20.4	-0.8	87.4	113.5
3	1.7	西北西	20.5	西	11.9	22.7	2.4	81.3	162.5
4	1.8	西北西	18.7	北北西	15.9	27.5	2.6	81.8	144.0
5	1.9	西北西	17.6	東南東	20.0	30.9	9.0	79.7	120.0
6	1.8	西北西	26.1	南西	23.2	30.0	15.9	89.6	254.5
7	1.6	西北西	16.7	南南東	26.4	35.0	19.3	91.9	966.0
8	1.9	西北西	22.9	西	27.7	35.1	20.0	89.1	145.5
9	2.2	西北西	26.6	南南東	26.6	34.2	18.2	88.0	124.0
10	1.4	西北西	13.8	北北西	21.4	30.8	11.5	87.5	68.5
11	1.4	西北西	15.5	西北西	14.8	24.9	3.5	86.6	78.0
12	1.3	西北西	18.6	西北西	10.2	21.3	-0.1	88.9	95.5

測定場所：消防本部屋上

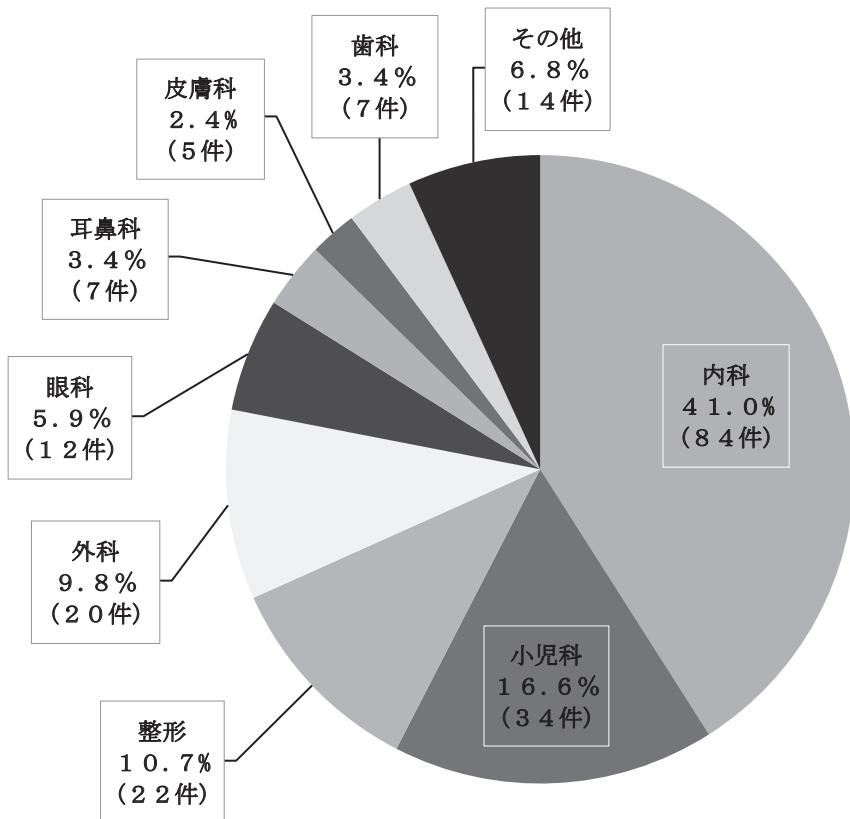


6 病院問合せ

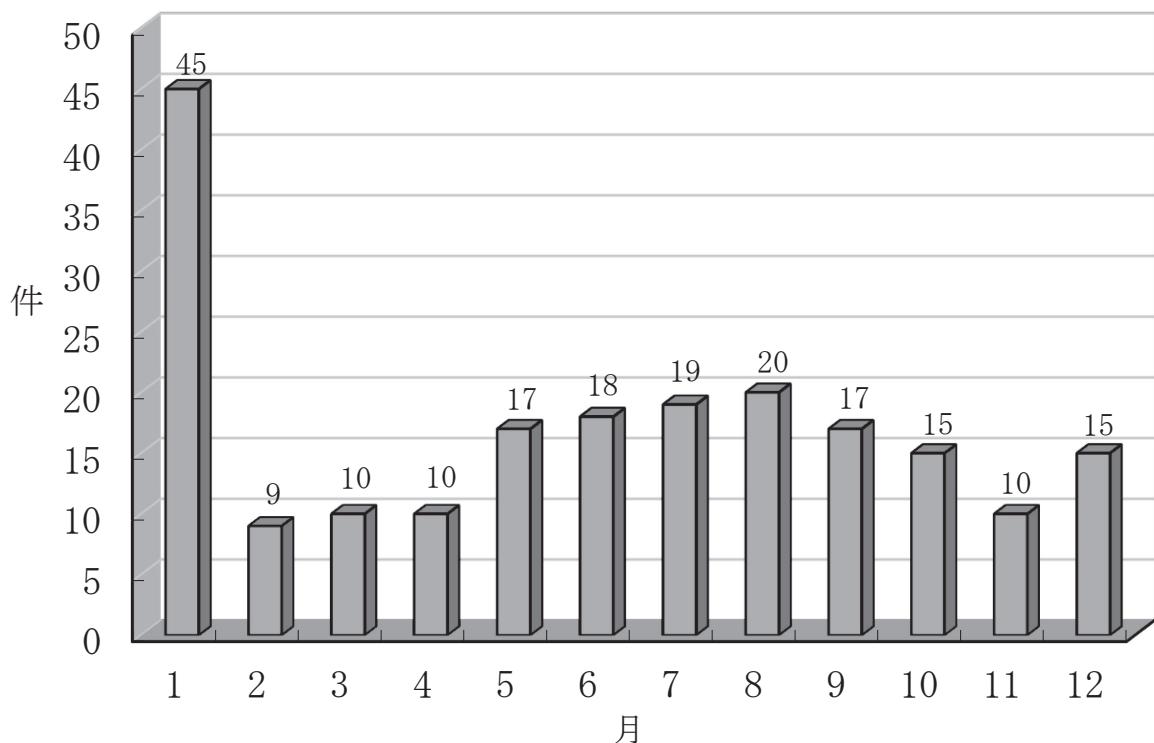
(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

曜日\科目	内科	小児科	整形	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	歯科	その他	合計
月曜日	10	3	4	3	1	2		3	3	29
火曜日	8	3	2	1	1				3	18
水曜日	13	8	2	3	1		1			28
木曜日	8	2	1	2	2		1	1		17
金曜日	9	3	3	1	1	1	1	1	1	21
土曜日	16	5	3	5	3	2	1	1	2	38
日曜日	20	10	7	5	3	2	1	1	5	54
合計	84	34	22	20	12	7	5	7	14	205

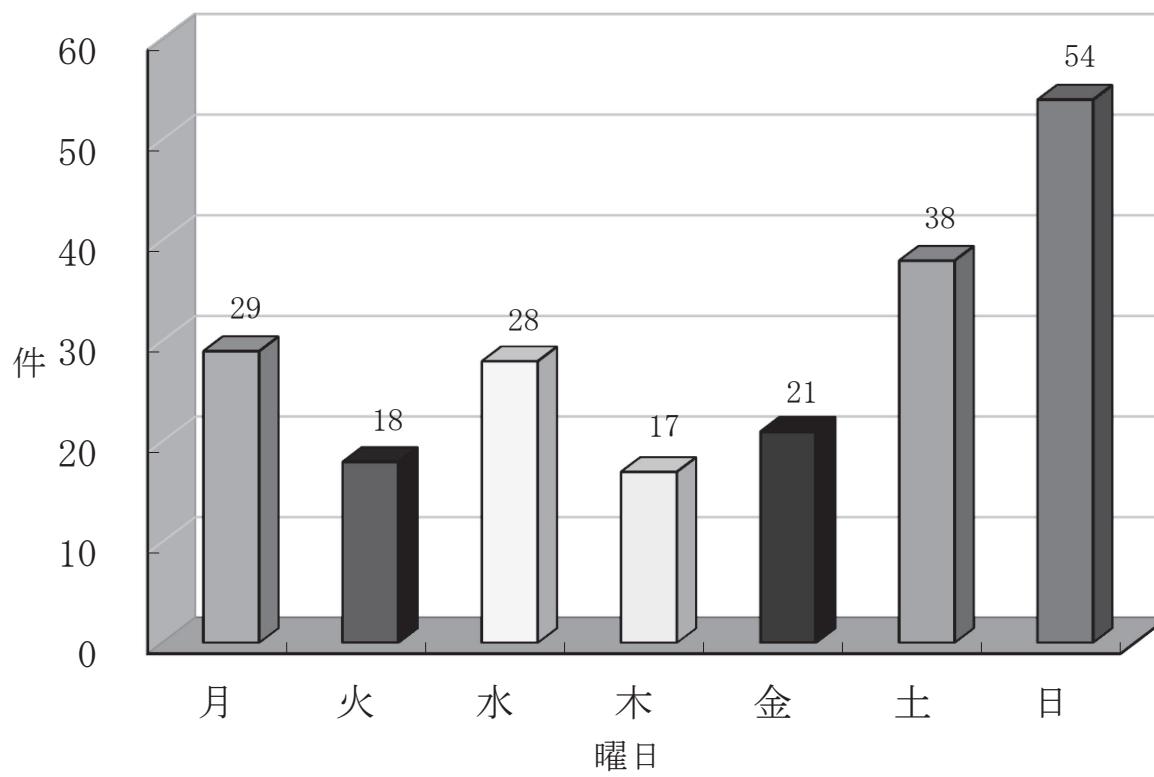
科目別病院問合せ件数



月別病院問合せ件数



曜日別病院問合せ件数



IX 付 錄

付
錄

1 組合設立までのあらまし

年 月	概 要
昭和43年 7月	一部事務組合による常備消防設置について、加治木町から提案されたが、時期尚早で立ち消えとなる
昭和45年 5月	交通事故の増加により、加治木町、姶良町、蒲生町及び溝辺町の町長間で常備消防設置について検討が始まる
昭和45年10月	常備消防設置に関する正式協議が開催される
昭和45年11月	常備消防設置準備会議が開催される
昭和45年12月	組合設立委員会発足
昭和46年 1月	組合設立委員会において組合設立についての原案作成が完了する
昭和46年 3月	蒲生町議会可決を最後に4町とも可決し、組合設立が正式に決定し、組合設立許可申請を鹿児島県に提出
昭和46年 4月	組合設立について鹿児島県知事の許可を受ける

2 消防本部・署の沿革（姶良郡西部消防組合消防本部）

年 月 日	概 要
昭和46年 4月 1日	初代管理者兼初代消防長に曾木隆輝加治木町長就任 消防吏員5人採用
昭和46年 5月 1日	加治木町役場に消防本部を置き消防吏員1人加治木町から出向
昭和46年 8月 18日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける
昭和46年10月 1日	事務吏員1人姶良町から出向、消防吏員32人採用
昭和47年 2月 29日	消防無線基地局1、移動局3を設置
昭和47年 3月 23日	ジープ型消防ポンプ自動車3台を購入
昭和47年 4月 1日	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける 第2代消防長に下猶篤男就任 仮設の本部、署1、分遣所2、消防ポンプ車3台、救急車1台にて消防業務の実働を始める
昭和47年 4月 18日	消防吏員8人採用、1人加治木町から出向 指令車購入（救急車の兼用可）
昭和47年 5月 31日	蒲生分遣所庁舎完成
昭和47年 6月 20日	加治木町大英建設から救急車（トヨタハイエース）1台の寄贈を受ける
昭和47年 7月 12日	消防無線移動局3局増設
昭和47年 8月 10日	消防本部・消防署庁舎落成
昭和47年 9月 15日	溝辺分遣所庁舎落成
昭和47年12月18日	水槽付消防ポンプ車（いすゞ・ガソリン車）1台購入し本署に配置 事務吏員女性1人採用

昭和48年 2月 1日	生命保険協会から救急車1台寄贈を受ける
昭和48年 3月 9日	消防吏員8人採用
昭和48年 4月 1日	消防無線移動局（携帯用）3局購入
昭和48年 6月 25日	日本道路公団から救急車（消防無線付）2台寄贈を受ける
昭和48年 12月 18日	消防無線移動局2局購入
昭和48年 12月 26日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
昭和49年 3月 19日	消防無線基地局（蒲生・溝辺分遣所）2局増設
昭和49年 9月 2日	消防無線移動局（携帯用）4局購入
昭和49年 11月 10日	初代管理者曾木隆輝加治木町長退任
昭和49年 12月 9日	第2代管理者に東國男加治木町長就任
昭和49年 12月 11日	第2代消防長下猶篤男退任
昭和49年 12月 31日	第3代消防長に坂元満男消防長就任
昭和50年 1月 1日	日本消防協会から広報車1台寄贈を受ける
昭和52年 7月 5日	第3代消防長坂元満男退任
昭和53年 3月 31日	第4代消防長に右田光男就任
昭和53年 4月 1日	消防吏員10人採用
昭和53年 10月 1日	消防吏員9人採用
昭和54年 4月 16日	溝辺分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和55年 3月 1日	会計事務職員1人採用
昭和55年 3月 31日	小型ポンプ付積載車1台購入し本署に配置する
昭和55年 11月 26日	消防無線移動局・携帯局各1台購入
昭和56年 3月 20日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和56年 6月 9日	救助用訓練塔（7m）本署に設置
昭和56年 7月 9日	消防無線携帯局1局購入し蒲生分遣所に配備する
昭和56年 12月 28日	小型ポンプ付積載車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和57年 10月 1日	蒲生分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和57年 12月 3日	消防無線移動局2局増設し消防本部及び本署に配備する
昭和57年 12月 6日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年 1月 25日	水槽付消防ポンプ車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和58年 7月 31日	第4代消防長右田光男退任
昭和58年 8月 1日	第5代消防長に村岡創造就任
昭和58年 11月 29日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年 12月 27日	水槽付消防ポンプ車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和59年 2月 20日	消防無線携帯局3局増設し本署及び蒲生分遣所に配備する
昭和59年 12月 6日	徳重ガラス店から救急車1台の寄贈を受け蒲生分遣所に配置する
昭和60年 2月 26日	竹下喜久子氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和60年 3月 1日	救助用訓練塔溝辺分遣所に設置
昭和60年 3月 18日	救助工作車1台を購入し本署に配置する

昭和 60 年 3月 30 日	消防無線携帯局 2 局増設し本署に配備する
昭和 60 年 5月 20 日	鹿児島県安全運転管理協議会より優良事業所表彰を受ける
昭和 61 年 4月 28 日	山下為美氏から救急車 1 台の寄贈を受け本署に配置する
昭和 61 年 6月 1 日	消防吏員 1 人採用 (中途退職補充)
昭和 61 年 7月 18 日	姶良郡西部地区危険物安全協会設立
昭和 61 年 12月 9 日	第 2 代管理者東國男加治木町長退任
昭和 61 年 12月 15 日	第 3 代管理者に西野繁始良町長就任
昭和 61 年 12月 31 日	第 5 代消防長村岡創造退任 (姶良町へ転出)
昭和 62 年 1月 1 日	第 6 代消防長に木場政昭就任
昭和 62 年 3月 31 日	第 6 代消防長木場政昭退任
	消防無線携帯局 2 局増設し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
昭和 62 年 4月 1 日	第 7 代消防長に迫屋清治就任
	消防吏員 2 人採用 (退職補充)
昭和 63 年 3月 8 日	水槽付消防ポンプ車 1 台購入し本署に配置する
	消防無線固定局 1 局・基地局 1 局予備を増設し本署に配備する
昭和 63 年 3月 28 日	消防無線携帯局 2 局更新し本署及び溝辺分遣所に配備する
昭和 63 年 7月 20 日	姶良郡西部地区防火管理者等協議会設立
平成 元年 3月 23 日	消防ポンプ車 1 台購入し本署に配置する
	蒲生分遣所救助用訓練塔及び消防用ホース乾燥塔完成 (更新)
平成 元年 3月 31 日	消防無線移動局 2 局 (10w) 更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の小型ポンプ付積載車に配備する
平成 元年 4月 1 日	消防吏員 1 人採用 (退職補充)
平成 2 年 2月 1 日	川田スミ氏からレスキューツール (救助資機材) 1 式寄贈を受け救助工作車に配備する
平成 2 年 3月 7 日	小型ポンプ付積載車 1 台を購入し本署に配置する
平成 2 年 3月 31 日	第 7 代消防長迫屋清治退任
平成 2 年 4月 1 日	第 8 代消防長に雨乞信就任
	消防吏員 1 人採用 (退職補充)
平成 3 年 1月 22 日	第 3 代管理者西野繁始良町長退任
平成 3 年 1月 31 日	第 4 代管理者に櫻山和實始良町長就任
平成 3 年 4月 1 日	消防無線移動局 2 局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の水槽付消防ポンプ車に配備する
平成 3 年 5月 1 日	本署救助用訓練塔 (更新) 完成
平成 3 年 11月 13 日	姶良郡西部消防組合創立 20 周年記念式典
平成 4 年 1月 10 日	小型ポンプ付積載車 1 台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成 4 年 3月 30 日	溝辺分遣所消防用ホース乾燥塔完成 (更新)
平成 4 年 4月 1 日	消防吏員 1 人採用 (退職補充)
	鹿児島県消防相互応援協定覚書締結
平成 4 年 8月 28 日	組合規約第 10 条関係変更届出

平成 4年 12月 25日	消防職員定数条例改正（職員定数 81人）
平成 5年 1月 20日	溝辺分遣所救助用訓練塔完成（更新）
平成 5年 2月 3日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成 5年 2月 25日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
平成 5年 4月 1日	消防吏員5人採用（退職補充1人、新規採用4人）
平成 5年 5月 26日	鹿児島郡吉田町から消防組合加入の要望書が提出される
平成 5年 6月 5日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
平成 5年 8月 23日	日本消防協会から指令車1台の寄贈を受け消防本部警防課に配置する
平成 5年 9月 7日	消防組合臨時議会（鹿児島郡吉田町の消防組合加入について議決）
平成 5年 10月 18日	消防職員定数条例改正（職員定数 107人）
平成 5年 10月 25日	鹿児島郡吉田町の消防組合加入に関する協議書覚書調印
平成 6年 3月 1日	消防無線移動局2局更新し本署に配備する
平成 6年 3月 18日	広報車1台更新し消防本部総務課に配置する
平成 6年 4月 1日	鹿児島県知事から消防組合規約変更許可（鹿児島郡吉田町の消防組合加入） 消防吏員24人採用（鹿児島郡吉田町加入による増員20人、条例改正による増員4人） 水槽付消防ポンプ車1台、小型ポンプ付積載車1台、救急車1台、消防無線基地局1局、移動局3局、携帯局4局購入し吉田分遣所に配備する
平成 6年 9月 29日	吉田分遣所落成式典
平成 6年 9月 30日	救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成 6年 10月 1日	吉田分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置）
平成 6年 12月 26日	本署消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成 7年 1月 27日	第4代管理者櫟山和實始良町長再任
平成 7年 3月 29日	吉田分遣所ロープ渡過施設完成
平成 7年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充1人、条例改正による増員2人）
平成 7年 6月 22日	小型動力ポンプ1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成 7年 7月 17日	救急車1台、消防無線移動局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成 7年 8月 8日	消防無線携帯局2局更新し本署及び蒲生分遣所に配置する
平成 7年 12月 22日	消防無線基地局1局更新し蒲生分遣所に配置する
平成 8年 2月 6日	消防無線基地局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成 8年 4月 1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成 8年 8月 5日	消防職員定数条例改正（職員定数 118人）
平成 8年 8月 8日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び蒲生分遣所1局配置する
平成 8年 11月 25日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し蒲生分遣所に配置する 消防無線基地局1局更新し本署に配置する
平成 9年 3月 31日	第8代消防長雨乞信退任

平成 9年 4月 1日	第9代消防長に猶木龍美就任 消防吏員12人採用（退職補充1人、条例改正による増員11人） 消防吏員1人中途退職
平成 9年11月19日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成10年 3月23日	小型ポンプ付積載車1台を購入し始良分遣所に配置する
平成10年 3月27日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び溝辺分遣所1局配置する 消防無線設備を始良分遣所に配備する（受信機1台、携帯局2局）
平成10年 4月 1日	始良分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置） 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成10年10月13日	救急車1台を更新し中央消防署に配置する
平成11年 1月22日	第4代管理者櫻山和實始良町長退任
平成11年 1月29日	第5代管理者に福元久夫始良町長就任
平成11年 3月30日	日本消防協会から救急車1台寄贈を受け始良分遣所に配置する
平成11年 4月 1日	消防緊急通信指令施設運用開始
平成11年11月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し始良分遣所に配置する
平成11年11月16日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成12年 3月31日	第9代消防長猶木龍美退任
平成12年 4月 1日	第10代消防長に森田峯一就任
平成12年10月30日	訓練指導車1台を更新し消防本部警防課に配置する
平成13年 2月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 2月16日	高規格救急車を1台購入し中央消防署に配置する
平成13年 4月 1日	救急救命士による高規格救急車運用開始
平成13年 7月19日	蒲生分遣所新築移転し消防業務を開始 救助工作車1台、小型ポンプ付積載車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 8月16日	加治木ライオンズクラブから消防用ホース5本寄贈を受ける
平成14年 4月 1日	溝辺分遣所新築移転し消防業務を開始 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成14年11月18日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成14年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成15年 4月 1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成16年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成16年11月 1日	鹿児島郡吉田町が消防組合を脱退し鹿児島市と合併（消防吏員10人鹿児島市へ転出）
平成17年 3月25日	資機材搬送車1台購入し中央消防署に配置する
平成17年 3月31日	第10代消防長森田峯一退任
平成17年 4月 1日	第11代消防長に垂内猛志就任
平成17年 8月19日	集団災害用エアーテント購入し中央消防署に配置する
平成17年10月19日	消防緊急通信指令施設で携帯電話119番直接受信開始

平成17年11月 7日	姶良郡溝辺町が消防組合を脱退し国分市、隼人町、牧園町、霧島町、横川町及び福山町と合併し霧島市となる（消防吏員14人霧島市へ転出）
平成18年 3月 5日	第5代管理者福元久夫姶良町長急逝
平成18年 3月 17日	高規格対応型救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成18年 5月 8日	第6代管理者に厚地和幸蒲生町長就任
平成18年 7月 28日	査察車1台を更新し消防本部予防課に配置する
平成18年10月 24日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成19年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成19年 9月 30日	消防吏員1人中途退職
平成19年10月 31日	第11代消防長垂内猛志退任（姶良町へ転出）
平成19年11月 1日	第12代消防長に池山史郎就任
平成19年12月 20日	指揮車1台更新し中央消防署に配置する
平成20年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成21年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成21年 9月 30日	第12代消防長池山史郎退任（姶良町へ転出）
平成21年10月 1日	第13代消防長に宮原千年就任
平成21年12月 31日	消防吏員1人中途退職
平成22年 1月 15日	高規格救急自動車1台更新し姶良分遣所に配置する
平成22年 3月 22日	姶良郡西部消防組合解散（加治木町、姶良町及び蒲生町の合併に伴い解散）

消 防 年 報

編 集／姶良市消防本部 消防総務課

発 行／姶良市消防本部

〒899-5241 鹿児島県姶良市加治木町木田2040番地1

TEL (0995) 63-3816

FAX (0995) 63-3291

印 刷／(有)森田印刷

